

## 令和2年度第3回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議

1 開催日時 令和2年12月21日（月） 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	和田 操	委員	三枝 加代子
副委員長	武井 千尋	委員	柳井 美重子
委員	井上 美鈴	委員	神崎 保
委員	高梨 勝智	委員	大熊 賢滋
委員	江澤 孝	委員	寺田 陽一
委員	柳瀬 芳枝	委員	鈴木 美由紀
委員	田中 直子	委員	松下田 美幸

4 欠席委員

委員	小島 玲子	委員	福島 桜子
委員	小熊 良	委員	冨田 令子
委員	小林 清子	委員	谷本 有美

5 出席職員

福祉部長	今関 磨美
子育て支援課長	近藤 英明
子育て支援課子育て環境推進班長	漆原 聡美
子育て支援課こども家庭班長	長谷川 操
子育て支援課子育て環境推進班 副主査	巽 浩二郎
福祉部参事（保育課長事務取扱）	花澤 吉敬
健康推進課上席保健師（すこやか親子班長）	茂木 敬子
学校教育課副参事（指導班長事務取扱）	磯部 正史
学校教育課副課長（学事保健班長事務取扱）	伊井 勝典

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

- (1) 令和2年度子育てアンケートの調査結果について
- (2) 市立幼児教育・保育施設の今後のあり方検討に係る現状と課題について
- (3) その他

## 8 議事

### 1 開 会

### 2 委員長挨拶

※委員長より挨拶

### 3 議 題

#### (1) 令和2年度子育てアンケートの調査結果について

和田議長

それでは、議題に入ります。

議題（1）令和2年度子育てアンケートの調査結果について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料1-1、資料1-2、資料1-3により説明

#### 【 質疑・応答 】

和田議長

ご苦勞様でした。ただ今の議題（1）について説明がございましたが、質疑をされたい方は挙手をお願いします。

井上委員、どうぞ。

井上委員

資料1-2の基本目標Iで、子育てに関して楽しいと感じる割合が63%くらいですが、資料1-1に掲載されている詳細データを見ると、同じくらいと答えた方が約30%いらっしゃいます。この割合が他市と比較した場合、多いか少ないかについて知りたいと思います。

その一方で、辛いと感じる方が多いという回答も約5%存在するのですが、アンケートの際にこうした方々が支援につながるような手立てはあるのでしょうか。

事務局

他市との比較データは手元にはございませんが、県も同様の子育てアンケートを実施しており、各市町村がアンケートの窓口となって、母子の健診時にアンケート用紙の配布及び回収を行っています。県のアンケート結果を元に、他市あるいは県全体のデータとの比較が可能であるかについて、次回までに確認してまいります。

二点目のご質問ですが、辛いと感じている保護者がアンケートをきっかけに支援につながる事ができるかという点につきましては、アンケート依頼文書の裏側に市が実施している子育て支援の取組の一覧表を参考資料として掲載していますが、現状では各事業担当の連絡先までは載せておりません。

井上委員

せっかく毎年アンケートを実施しているので、データ収集は勿論ですが、サポートが必要な方々が電話や窓口で相談できるような情報につながる事ができればと思いました。

また、資料1-2の4ページの基本目標VIIの目指す姿に「一貫した療育支援を受けています」

という記述があります。療育のルートに乗る子ども達は良いのですが、支援制度が手厚くないとか、養育者がまだ気付いていないといった理由で、療育を受けるに至らずに学校の中で様子を見ている子ども達の方が多いので、そうした子ども達をサポートする必要もあると思います。

発達障害者支援法などでは、教育の中でそうした子ども達をどのように見ていくかということが記載されていますが、専門家でも中には適切に対応できない人もいて、発達の芽を摘んでしまうようなことも考えられます。要支援児童への対応は勿論ですが、そこに乗ってこない子ども達をどうサポートするのかがとても大事で、専門家への教育と共に、保護者への啓発活動も必要だと感じています。その辺りはどのように取り組まれているのかということを知りたいと思いました。

あともう一点、基本目標Ⅵの子どもの安全の確保ですが、成果指標が「子どもに係る事故や犯罪が少なくなったと感じる割合」とあるのですが、この項目は県のアンケートを参考にしたのではなく、袖ヶ浦市独自の指標なのでしょうか。

#### 事務局

こちらの成果指標は市独自の項目です。

#### 井上委員

事故や犯罪が少なくなったと感じる割合ということで、実際に発生した事故や犯罪の件数ではなく、回答者の感想を成果指標とすることに違和感があります。何か意図があってこのような質問になっているのでしょうか。

#### 事務局

統計に表れるような犯罪以外にも、通学路の安全性や声掛けなどの事案の増減などを、保護者の感覚でお答えいただいています。もう一つの成果指標も「地域における防犯活動が活発であると感じる割合」なので、啓発活動の成果指標という意味でも、治安が向上したと保護者が感じているかを測定しています。

#### 事務局

発達の遅れに関するご質問に対して、乳幼児健診の担当からお答えいたします。1歳6か月児健診・3歳児健診等の国が定めた健診の中で、言葉の発達や身体の発育を確認しています。幼少時は個人差が大きいので、1歳6か月児健診の時点では発達の遅れがあると断言はできませんが、その後の健診を通じて、集団の中での様子などを保護者にも確認しながら、必要な療育につなげています。

保護者に対する支援という点では、心理士による幼児相談の場を設けたり、就学が近いお子様に関しては学校教育課につないだりといった事業を行っています。幼稚園と保育所では就学前に言葉の検査を行い、早期の療育につなげています。

#### 事務局

先ほどの回答に補足いたします。基本目標Ⅶ「要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進」については、障がい者支援課の方で別途「障がい児福祉計画」という計画を策定しております。計画の中では、障がい児に対する支援について、障がいの状況や年齢ごとに切れ目ない支援を盛り込んでいます。

更にもう一つ、要支援児童への対応という点では児童虐待の防止も該当するのですが、こちらに関しては子育て支援課の要保護児童対策地域協議会で個別の案件について対応するとともに、自治会の回覧等でも情報提供しております。

そうした活動の結果、取組が進んでいると感じる割合が上昇していますが、まだ30%台の数字で推移しているため、更なる取組が必要という認識です。

#### 井上委員

障がいを持っているお子さんについては、別の計画で取り組んでいるということですね。

先ほどお話のあった乳幼児健診の件につきまして、1歳6か月児健診では発達障がいの有無が中々確定できないと思うのですが、3歳くらいになると徐々に傾向が出てきて、それでも小学校低学年で治まっていく可能性もあれば、治まりきらないお子さんもいると思います。

3歳くらいの時に親御さんがどう対応していけばいいか、そういう見通しや希望になるような言葉を伝えられるといいと思います。アンケートの中でそういったことを伝えるのは難しいかもしれませんが、何かあればいつでもサポートしますよという雰囲気を与えられたらと思います。

#### 和田議長

他にご意見はありませんか。

#### 武井委員

保育園の立場から補足させていただきます。

保育園では発達の遅れや気になる点のあるお子さんについては、市と連携しております。3歳児までは非常に判別が難しく、年中や年長クラスから目立ってくるのかと思います。

保育園の中では、そうした気になる子についてお母さんに直接お話することはなかなか難しいので、お母さんの方から気付いたことがあれば、支援の窓口があることをお伝えする。また園の方で気になる子がいる場合は、市の方に見に来ていただいて、専門家の意見を頂いたりしています。

先ほど事務局から説明があった通り、健診の際に注視していただけるというようなこともあるので、発達の遅れというのは非常に難しい問題ですが、市との連携や情報の共有はできていると感じています。

小学校に上がる際にも、発達の遅れが目立ってきている子については、就学前の調査で判明しますので、保育園や市からの情報なども考慮して、この子は支援学級の方がいいだろうというような流れになります。

#### 和田議長

ありがとうございました。

他にご意見はございますか。

#### 寺田委員

子育てアンケートは以前から郵送で実施しているようですが、今後も郵送を続けるのでしょうか。回収率が例年50%前後ですが、今の親御さんたちは手書きのアンケートを郵送するよりも、WEBでのアンケートの方が馴染み深いと思います。郵送とWEBでの回答を併用することで回収率が上がるのではないかと思います。

また、子育てガイドブックについても、紙の冊子が手元にあったとしても、今時はWEBで検索する人が多いと思います。紙の冊子と電子を併用することで利用率が上がるのではないのでしょうか。

#### 事務局

子育てアンケートの自由意見でも、WEBで回答できるようにして欲しいというご意見を頂いています。例えば電子メールでアンケートの依頼を送付して、そこに記載されているURLから直接アクセスできるようになると利便性が向上すると思うのですが、住民基本台帳から無作為に抽出した1,100名を調査対象としているため、そのような方法は難しいと思われます。その代わりに、市から郵送で依頼文をお送りし、その手紙にURLやQRコードを記載して、スマホ等でアクセスできるような手法が考えられます。

WEBアンケートを実施する場合には、民間のサービスを利用することになると思うので、その際に個人情報保護をどうするのか等の問題はあるにせよ、今後そういったことは検討していかなければならないと認識しています。

ガイドブックについても、現在の利用率がかなり低いことと、予想以上にWEB版のガイドブックを希望される方が多いことが判明しました。また、県内の他市町村でも電子版と紙の冊子を併用しているところが増えてきています。

アンケート結果で一番多い回答は電子のみだったのですが、実際には主任児童委員の方が母子を訪問する際に持参したりとか、両親だけでなく祖父母の世代が利用したりといった場面も想定されますので、寺田委員の仰る通り、紙とWEBとの併用が一番望ましいと考えております。来年度のガイドブック改定にあたっては、今回のアンケートの結果を踏まえた形で検討したいと思います。

**和田議長**

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。  
意見が無いようなので次に進みたいと思います。

## **(2) 市立幼児教育・保育施設の今後のあり方検討に係る現状と課題について**

**和田議長**

続きまして、議題(2)市立幼児教育・保育施設の今後のあり方検討に係る現状と課題について、説明をお願いします。

※事務局から資料2により説明

**和田議長**

ただいま議題(2)市立幼児教育・保育施設の今後のあり方検討に係る現状と課題について説明がございましたが、質問のある方はいらっしゃいますか。

**井上委員**

資料2の20ページから21ページにかけての質問ですが、まず、20ページの施設整備に係る費用については、公設民営の場合、公設公営と同様に全額市が負担するということですね。

**事務局**

その通りです。

**井上委員**

21ページの保育所の運営に係る費用については、公設民営の場合は民設民営と同様に国が1/2・県が1/4の補助があるのでしょうか。

**事務局**

公設民営の中にも指定管理や建物を民間事業者に貸し出して運営するなど、いくつか運営形態がありますので、後日確認のうえ回答いたします。

**和田議長**

ほかに質問はございますか。よろしいでしょうか。  
無いようなので、次に進みたいと思います。

### **(3) その他**

**和田議長**

それでは最後に、議題（3）その他について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料3「民間認可保育施設の整備支援等の進捗状況について」を説明

## **4 閉会**

令和2年度第3回  
袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議次第

日時 令和2年12月21日（月）  
午前10時から  
場所 市役所旧館3階大会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

(1) 令和2年度子育てアンケートの調査結果について

【資料1-1、資料1-2、資料1-3】

(2) 市立幼児教育・保育施設の今後のあり方検討に係る現状と課題について

【資料2】

(3) その他

【資料3】

4 閉 会

令和2年度  
袖ヶ浦市子育てアンケート  
調査結果

---

—令和2年10月実施—



## 1. 調査目的

次世代育成支援行動計画の事業評価について、個別事業レベルの進捗状況（アウトプット）に加え、個別事業を束ねた施策レベル、計画レベルの成果の指標（アウトカム）も経年的に測定することで、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な子育て支援施策の取組を検討していくために実施したものである。

## 2. 調査概要

- (1) 調査対象 令和2年9月1日時点の住民基本台帳より抽出した、小学校在学  
生までの保護者4,772人から無作為抽出した1,100人
- (2) 調査方法 郵送配布・回収
- (3) 調査時期 令和2年10月1日（木）～10月20日（火）
- (4) 地区別配布数

地区	昭和	長浦	根形	平岡	中富	計
配布数	445人	474人	66人	53人	62人	1,100人

## 3. 回収状況

回収数 596人（回収率54.2%）

### 【参考】過去の子育てアンケート調査等

#### (1) 子育てアンケート（アウトカム調査）

- ①平成22年9月中旬～10月5日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布 756人、回答460人（60.8%）
- ②平成24年7月12日～7月31日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,000人、回答387人（38.7%）
- ③平成25年5月22日～6月12日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,000人、回答463人（46.3%）
- ④平成26年8月8日～8月28日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,000人、回答347人（34.7%）
- ⑤平成28年7月1日～7月22日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答481人（43.7%）
- ⑥平成29年6月1日～6月23日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答566人（51.5%）
- ⑦平成30年6月1日～6月22日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答575人（52.3%）
- ⑧令和元年5月20日～6月7日  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答527人（47.9%）

#### (2) 計画策定に係るニーズ調査

- ①平成21年1月中旬～2月 次世代育成支援に関するニーズ調査  
・就学前児童保護者 郵送配布1,000人、回答632人（63.2%）  
・小学校在学保護者 学校配布1,302人、回答1,174人（90.2%）
- ②平成25年11月30日～12月27日 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査  
・小学校就学前児童の保護者 郵送配布2,000人、回答1,108人（55.4%）
- ③平成30年10月31日～11月20日 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査  
・就学前児童保護者 郵送配布1,000人、回答610人（61.0%）  
・小学校在学保護者 郵送配布1,000人、回答531人（53.1%）

## 4. 調査結果について

### (1) 属性

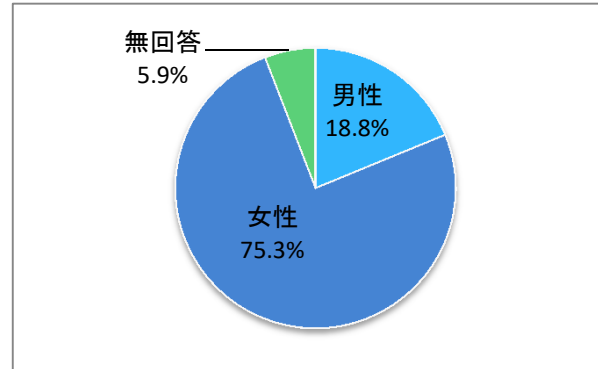
#### ① 性別

設問Q1-1：あなたの性別は？

男性 112人 (18.8%)

女性 449人 (75.3%)

無回答 35人 (5.9%)



#### ② 年代

設問Q1-2：あなたの年代は？

10代 0人 (0.0%)

20代 52人 (8.7%)

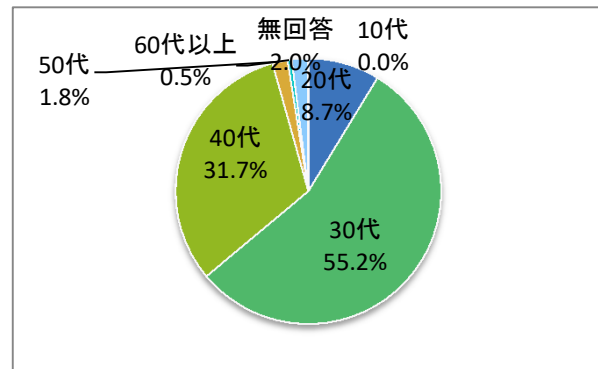
30代 329人 (55.2%)

40代 189人 (31.7%)

50代 11人 (1.8%)

60代以上 3人 (0.5%)

無回答 12人 (2.0%)



#### ③ 地区

設問Q2：あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

昭和 248人 (41.6%)

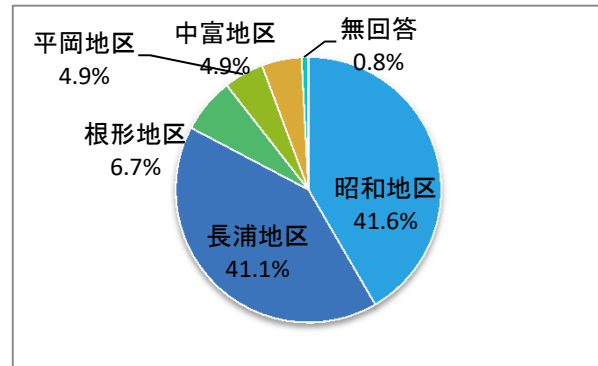
長浦 245人 (41.1%)

根形 40人 (6.7%)

平岡 29人 (4.9%)

中富 29人 (4.9%)

無回答 5人 (0.8%)



#### ④ 子の就学状況

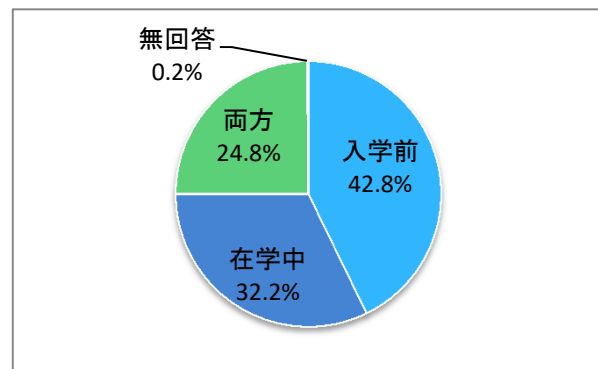
設問Q3：あなたのお子さまは、現在、小学校入学前ですか。小学校在学中ですか。

入学前 255人 (42.8%)

在学中 192人 (32.2%)

両方 148人 (24.8%)

無回答 1人 (0.2%)

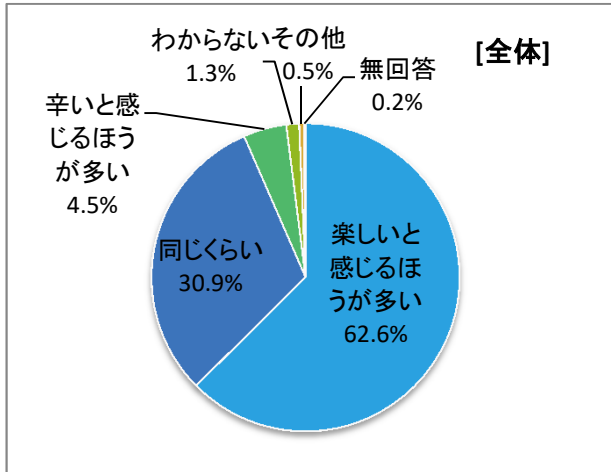


## (2) 目指す方向性に対する調査結果

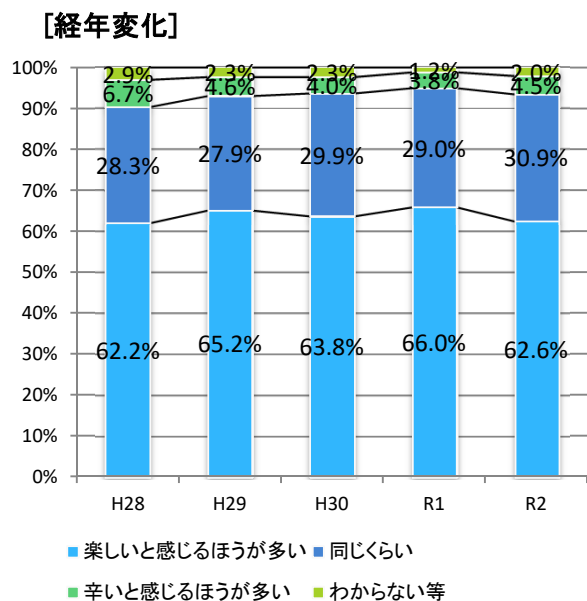
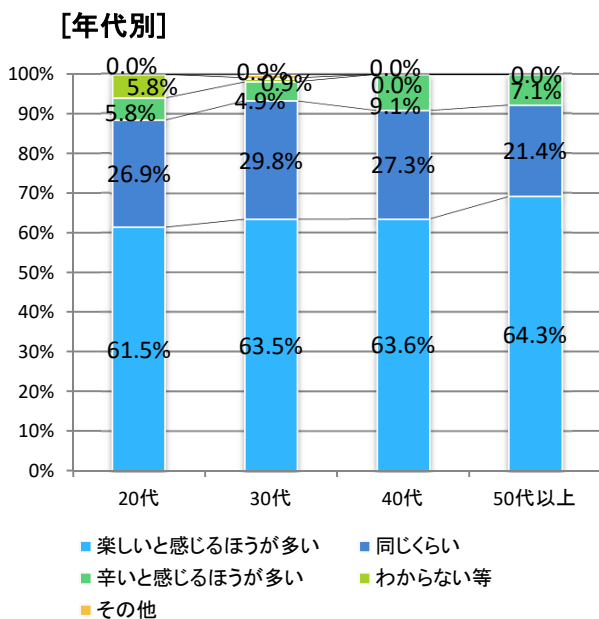
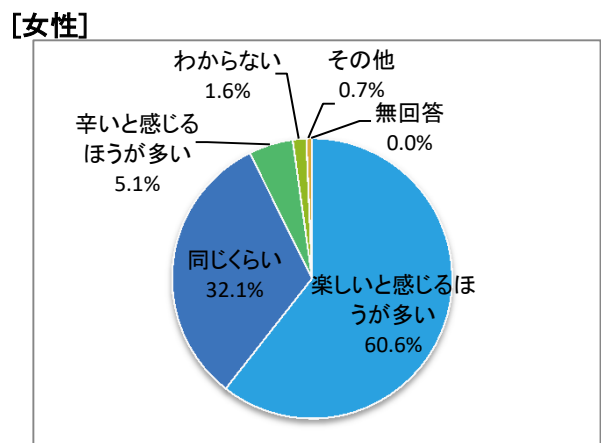
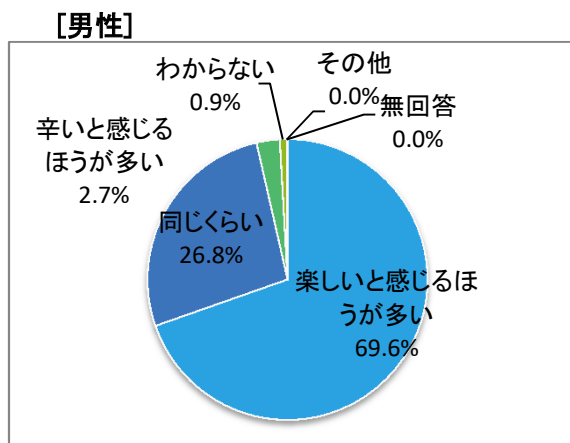
### ①基本目標 I 地域における子育て支援

#### 目指す方向性 子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者を減少させます。(I-1)

設問Q4：あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。



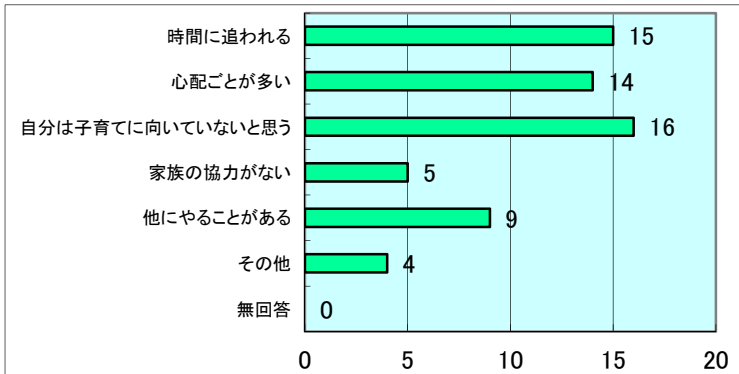
選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
楽しいと感じることが多い	373	62.6%
同じくらい	184	30.9%
辛いと感じることが多い	27	4.5%
分からない	8	1.3%
その他	3	0.5%
無回答	1	0.2%
計	596	100.0%



①基本目標 I 地域における子育て支援

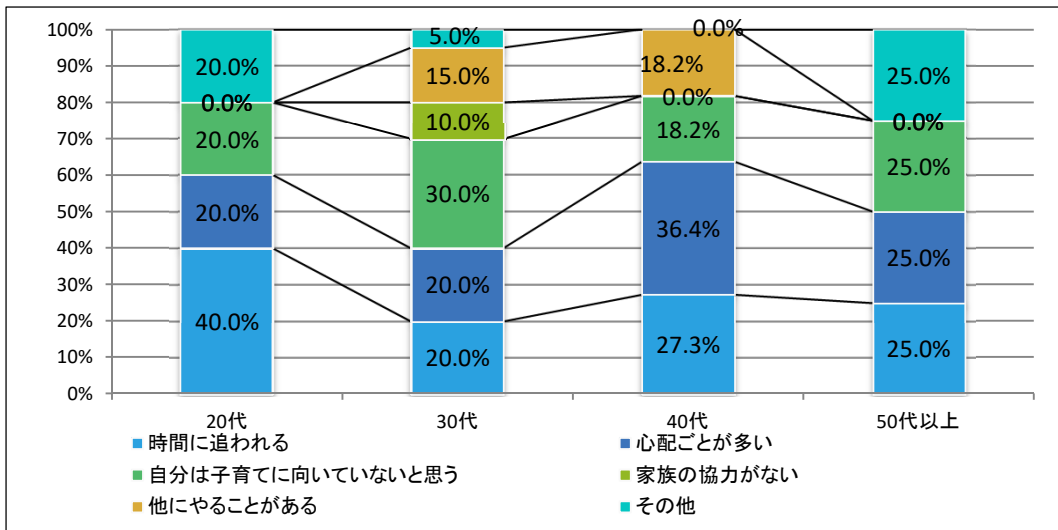
目指す方向性 子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者を減少させます。(I-1)

設問Q4-2：上記で「辛いと感じることが多い」と回答した方は当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

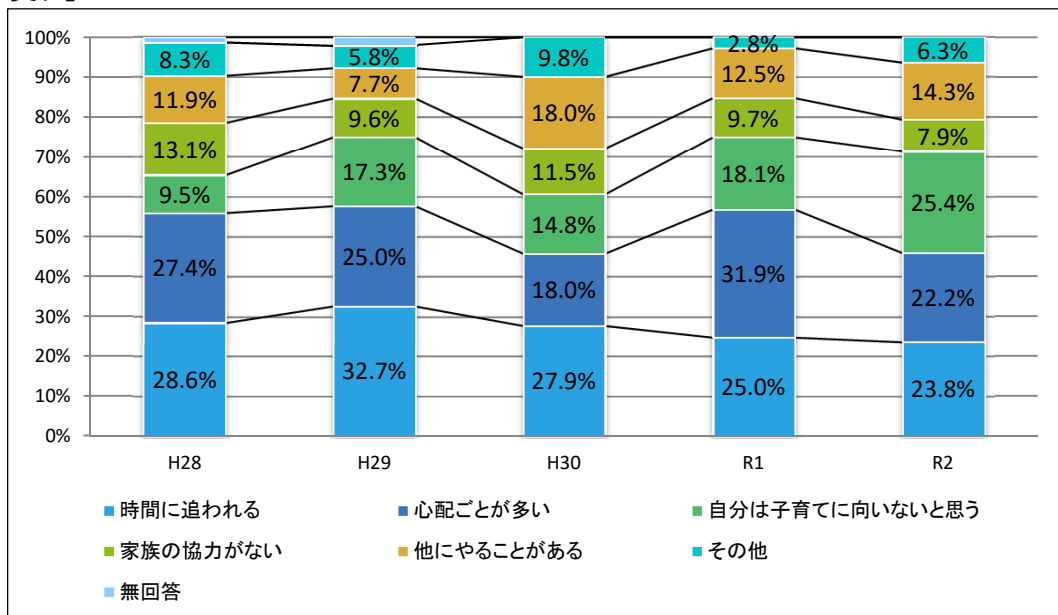


選択肢	令和2年10月	
	選択者(人)	割合(%)
※辛いと感じる	※27	
時間に追われる	15	23.8%
心配ごとが多い	14	22.2%
自分は子育てに向いていないと思う	16	25.4%
家族の協力が無い	5	7.9%
他にやることがある	9	14.3%
その他	4	6.3%

[年代別]



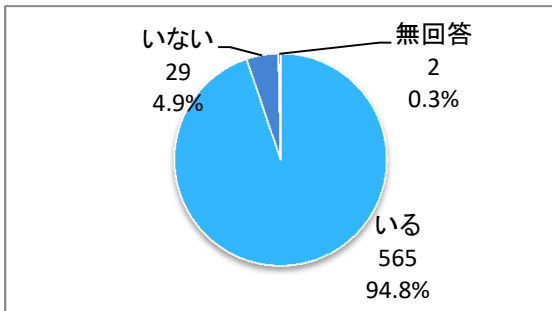
[経年変化]



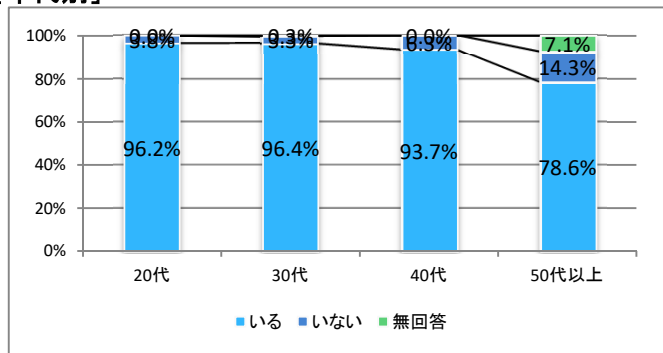
①基本目標 I 地域における子育て支援

目指す方向性 子育てが地域の人に支えられていると感じる割合を増やします。(I-2)

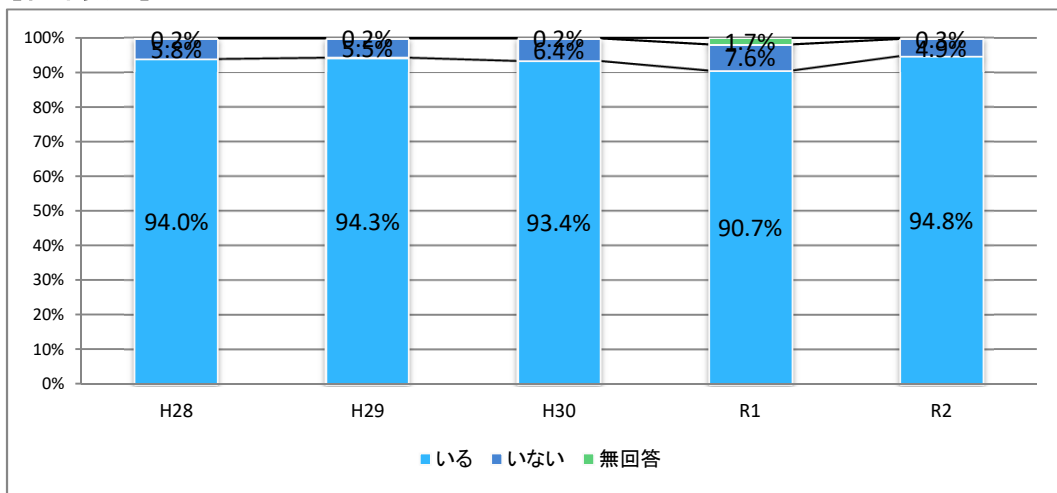
設問Q5：あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人がいますか。



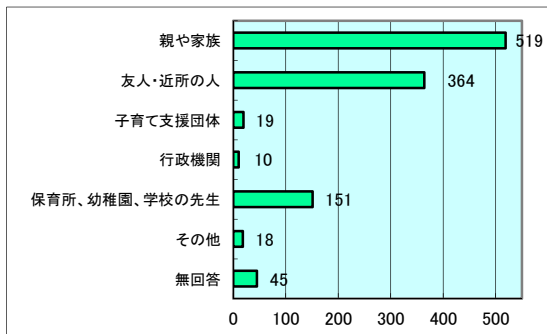
[年代別]



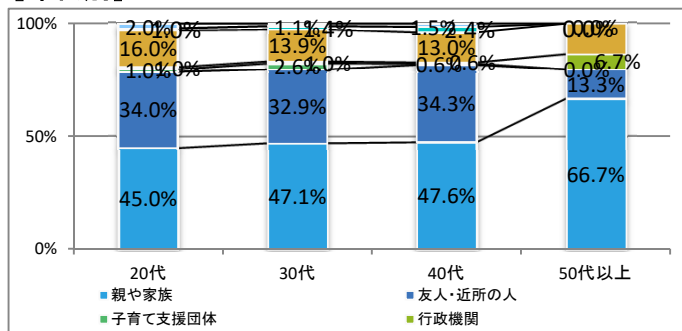
[経年変化]



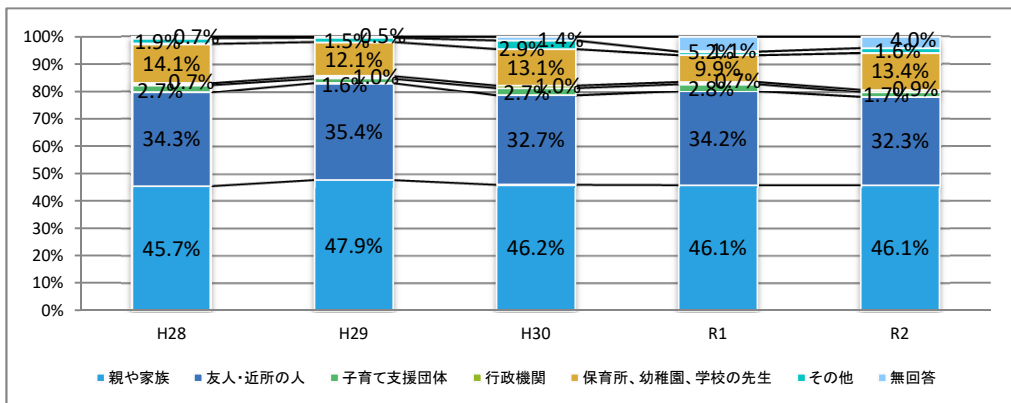
設問Q5-2：「a いる」と回答した方は、あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)



[年代別]



[経年変化]

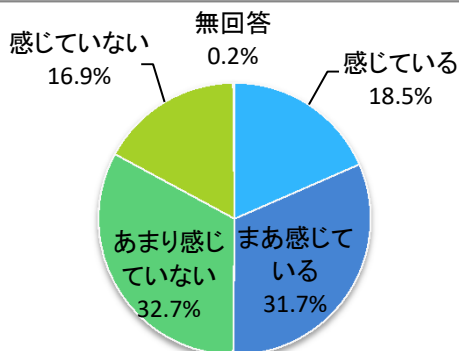


①基本目標 I 地域における子育ての支援

目指す方向性 「放課後や休日を子どもが有意義に過ごしている」と感じる保護者を増やします。

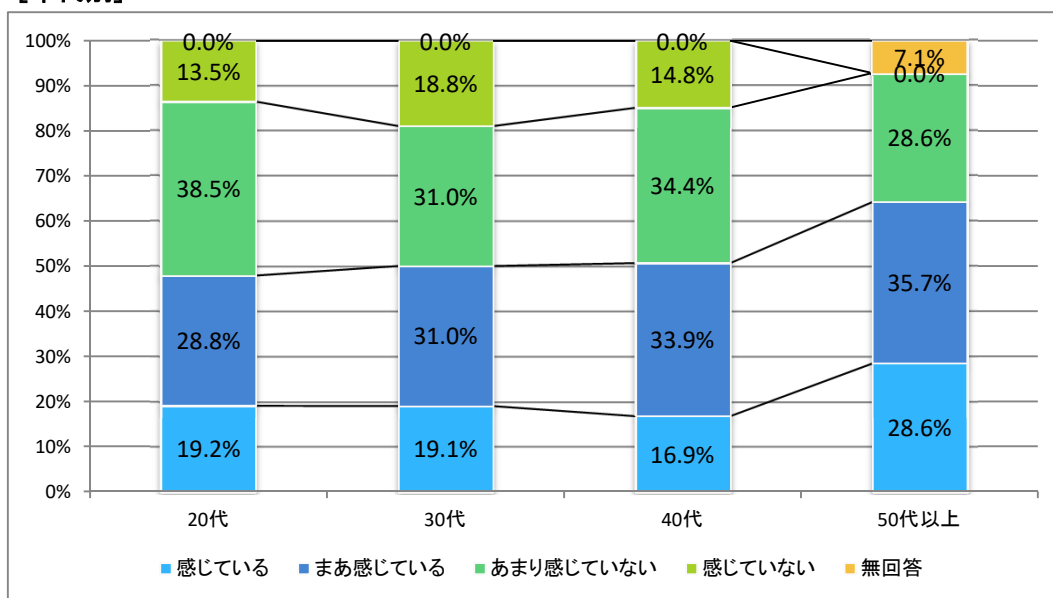
(I-3)

設問Q6：あなたは、お子様が、幼稚園や保育所、学校での生活以外で、子ども同士の交流、他の世代との交流ができる機会、場所を持っていると感じますか。

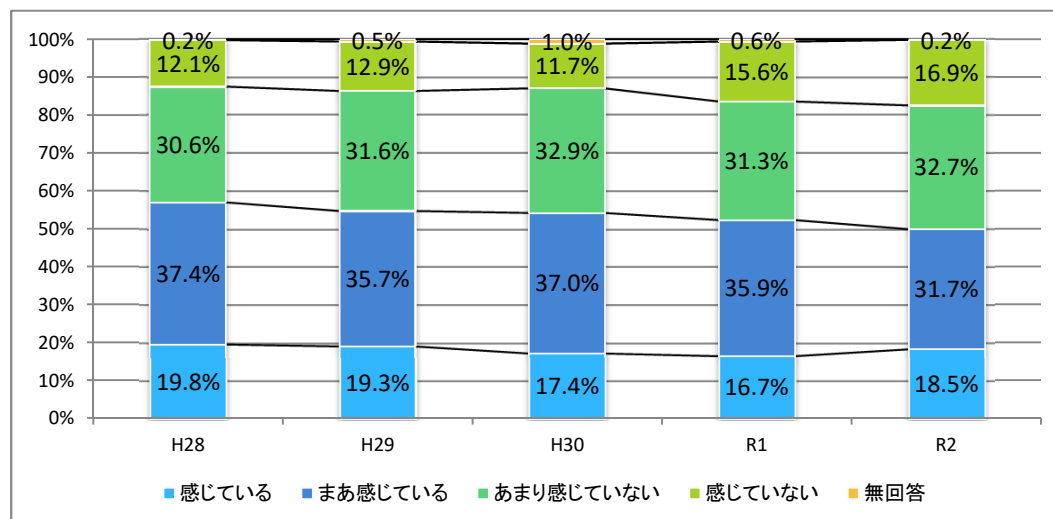


選択肢	令和2年10月	
	選択肢 (人)	割合 (%)
感じている	110	18.5%
まあ感じている	189	31.7%
あまり感じていない	195	32.7%
感じていない	101	16.9%
無回答	1	0.2%
計	596	

[年代別]



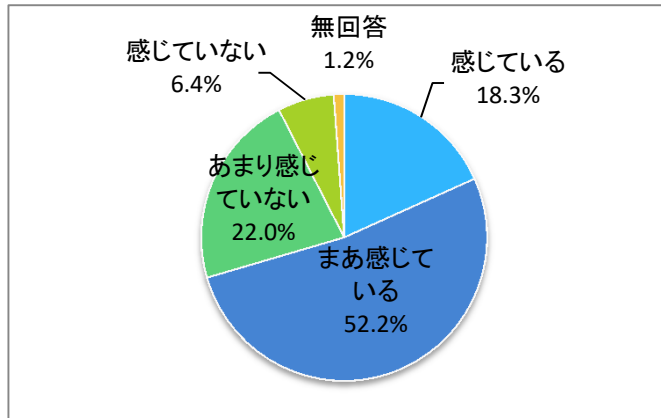
[経年変化]



②基本目標 II 母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進

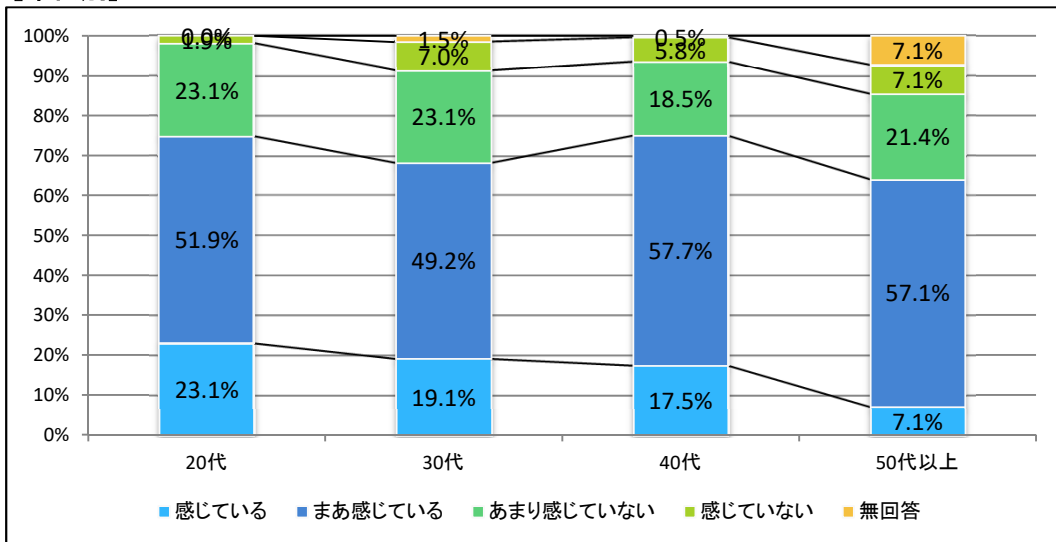
目指す方向性 妊娠・出産・検診の経過に対する満足度を上昇します。(II-1)

設問Q7：お子さまの妊娠中や出産時、出産後の経過を振り返って子どもを産み育てやすいと感じていますか。

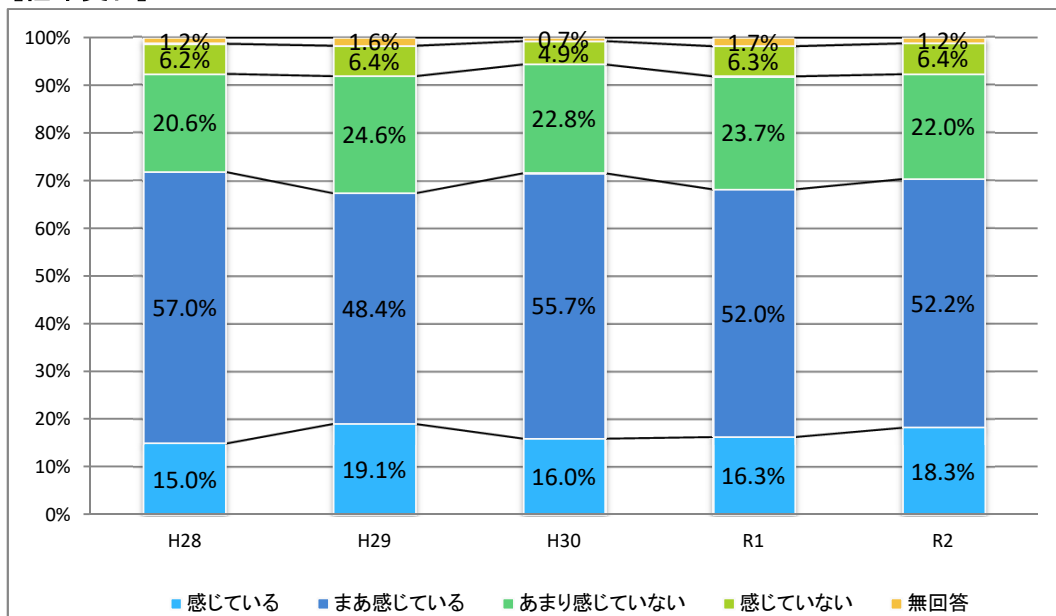


選択肢	令和2年10月	
	選択者(人)	割合(%)
感じている	109	18.3%
まあ感じている	311	52.2%
あまり感じていない	131	22.0%
感じていない	38	6.4%
無回答	7	1.2%
計	596	

[年代別]



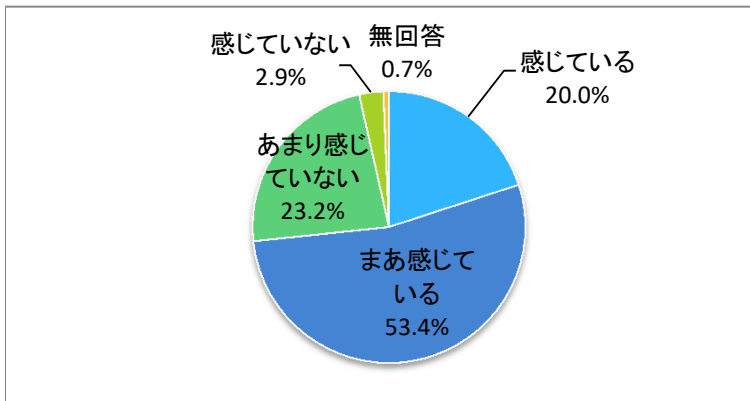
[経年変化]



②基本目標 II 母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進

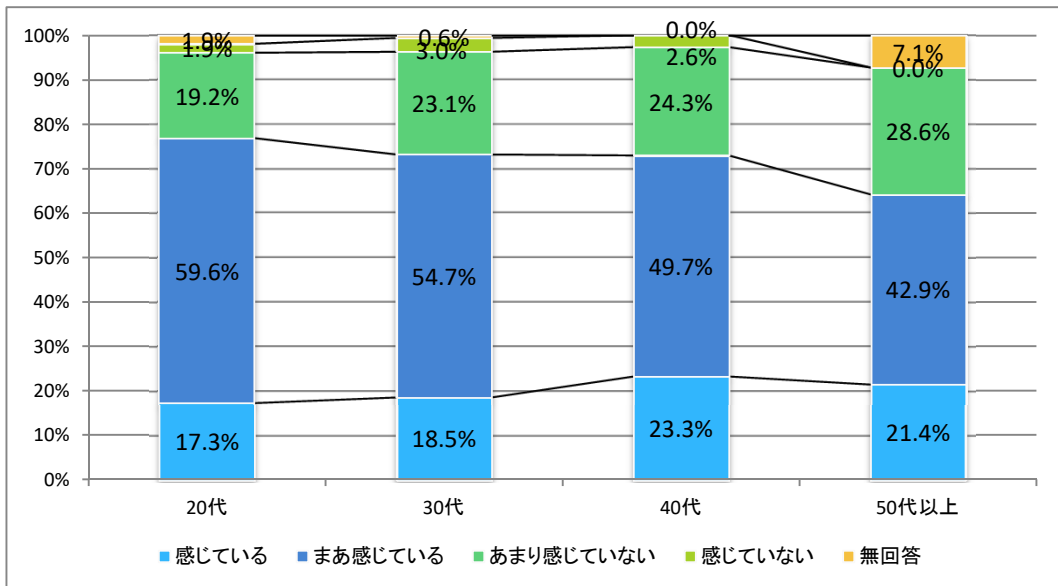
目指す方向性 子どもが健康的な食生活を身に付けていると感じる割合を増やします。(II-2)

設問Q8：あなたは、お子さまが、健康的な食生活を身につけていると感じていますか。

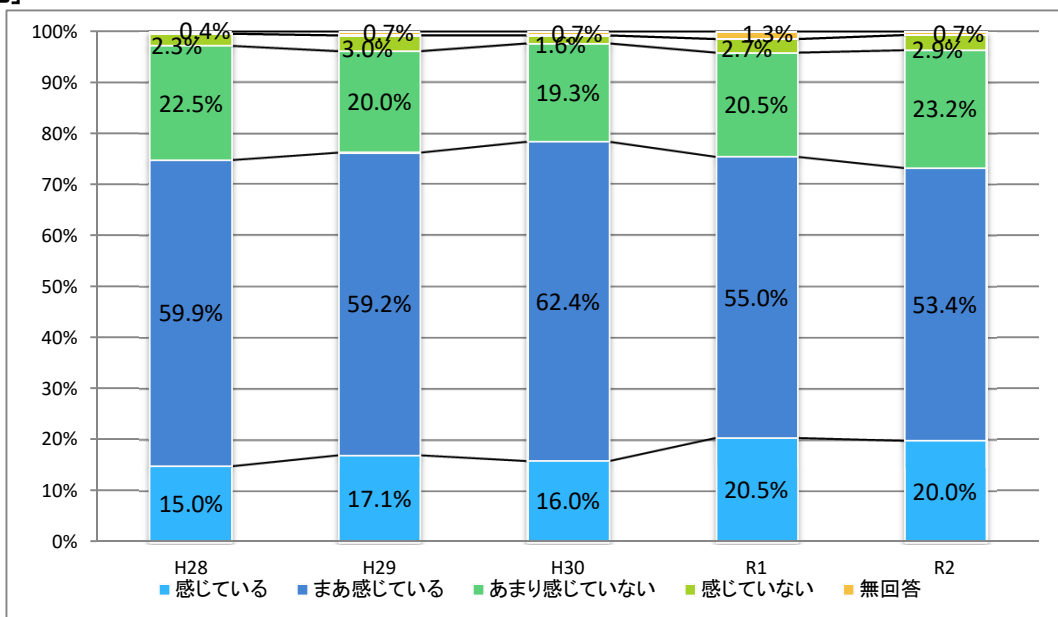


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	119	20.0%
まあ感じている	318	53.4%
あまり感じていない	138	23.2%
感じていない	17	2.9%
無回答	4	0.7%
計	596	

[年代別]



[経年変化]

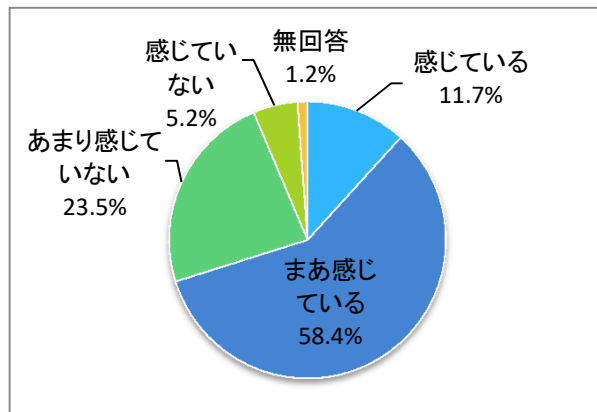




②基本目標 Ⅲ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

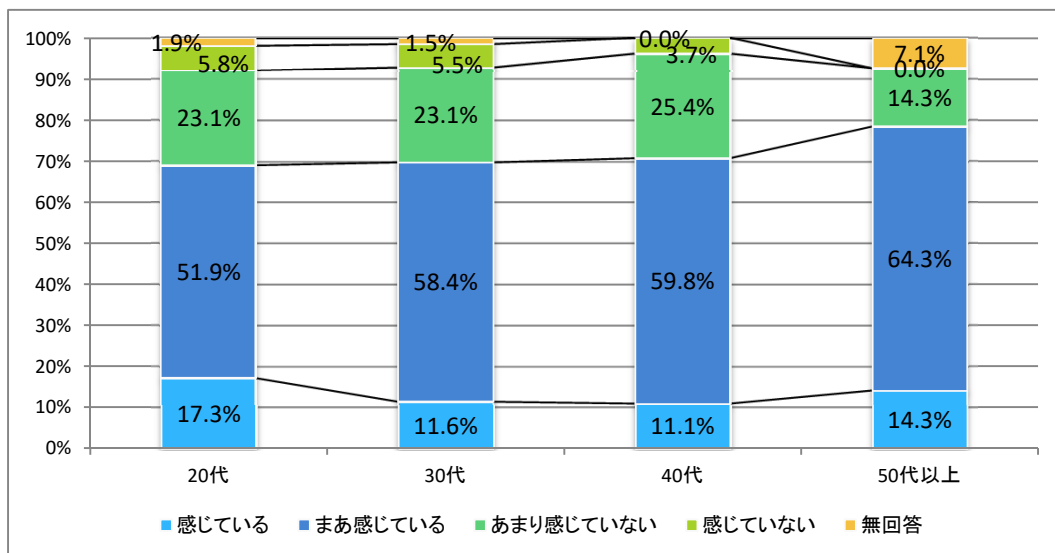
目指す方向性 子どもの生きる力の育成に向けた地域の教育環境が整備されていると感じる人  
を増やします。(Ⅲ-1)

設問Q9：あなたは、お子さまが主体的に生きていくための力の育成に向けて、地域や学校  
などの教育環境が整備されていると感じますか。

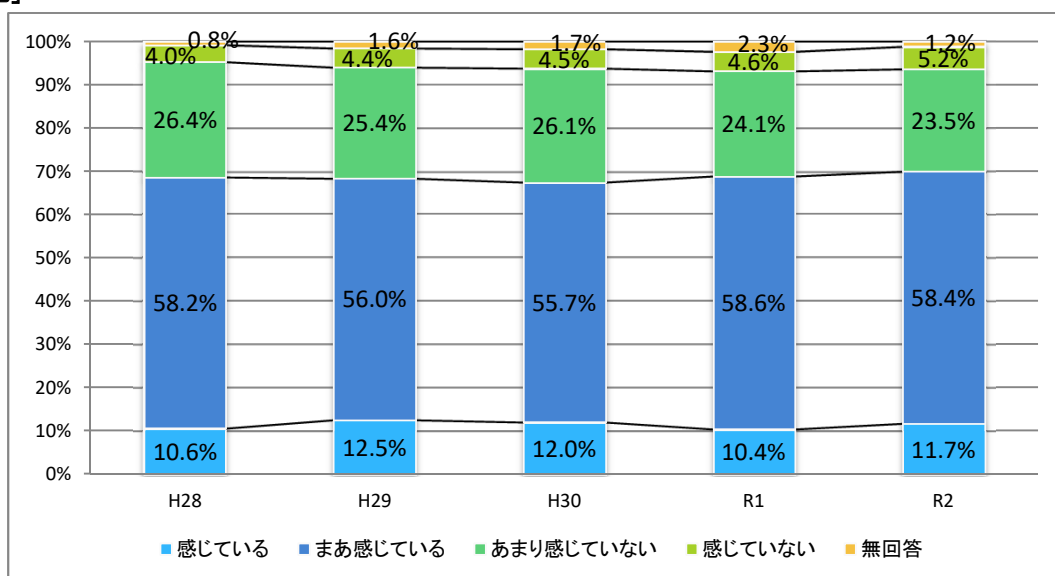


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	70	11.7%
まあ感じている	348	58.4%
あまり感じていない	140	23.5%
感じていない	31	5.2%
無回答	7	1.2%
計	596	

[年代別]



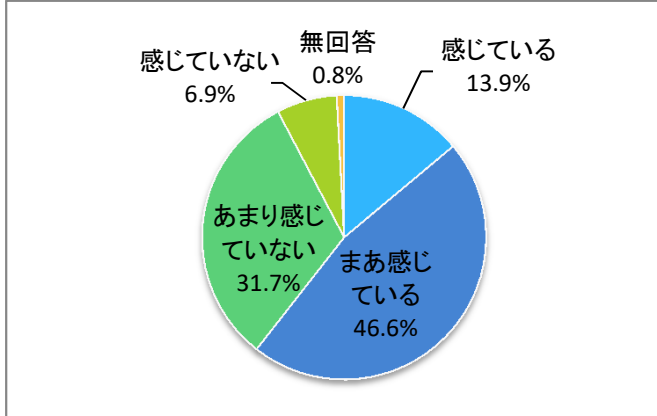
[経年変化]



②基本目標 Ⅲ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

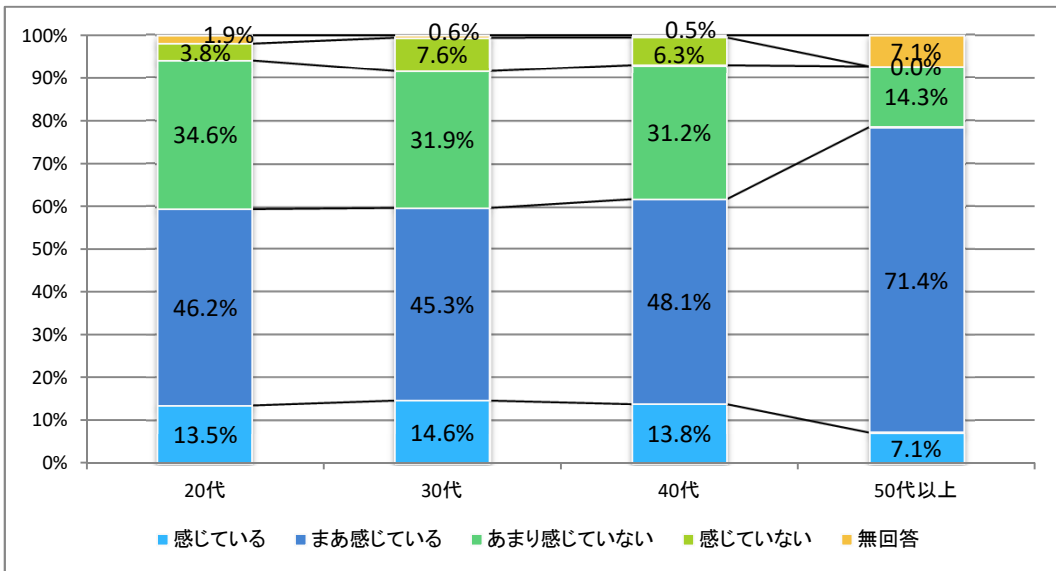
目指す方向性 子どもが自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると感じる人を増やします。(Ⅲ-2)

設問10：あなたは、お子さまが自然体験、社会体験、文化体験などをしやすい環境であると感じていますか。

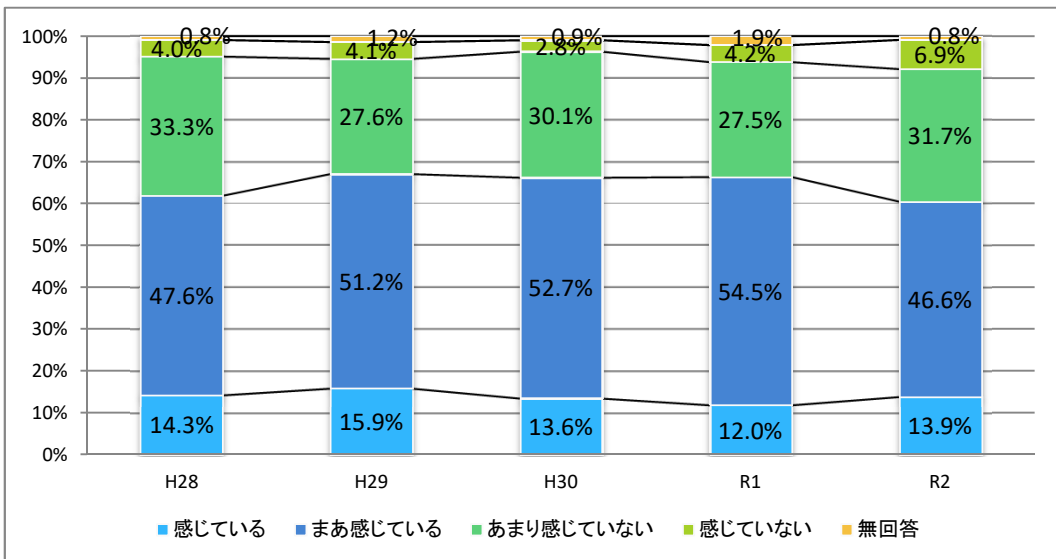


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	83	13.9%
まあ感じている	278	46.6%
あまり感じていない	189	31.7%
感じていない	41	6.9%
無回答	5	0.8%
計	596	

[年代別]



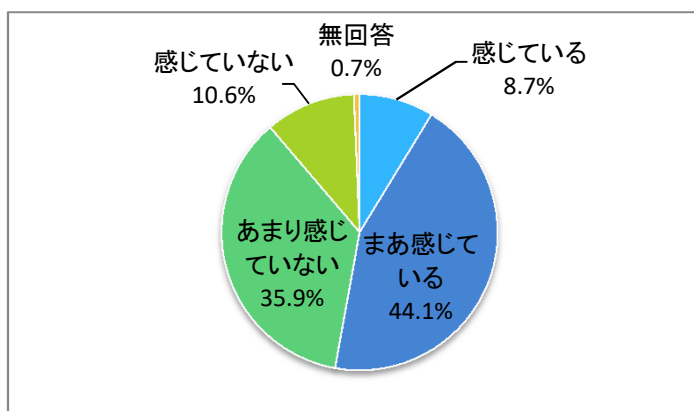
[経年変化]



## ②基本目標 IV 子育てを支援する生活環境の整備

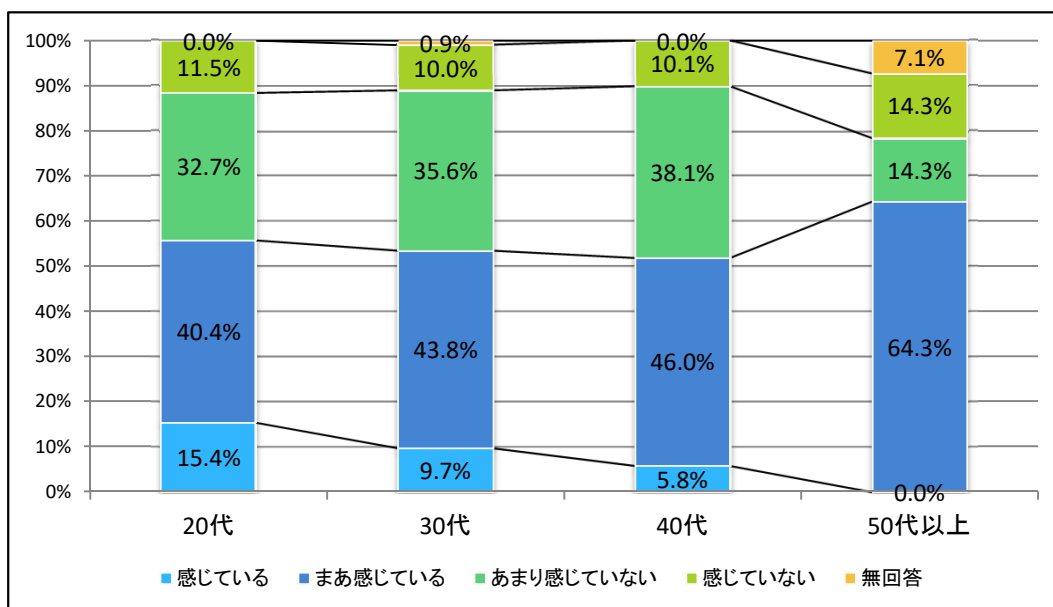
目指す方向性 生活環境について、満足と感じる子育て世帯の割合を増やします。(IV-1)

設問 1 1：あなたは、お子さまにとって、またお子さまとの外出に際し、道路(歩道)、公園、遊び場(児童遊園)、交通機関、公共の建物等が、安全で使いやすいと感じていますか。

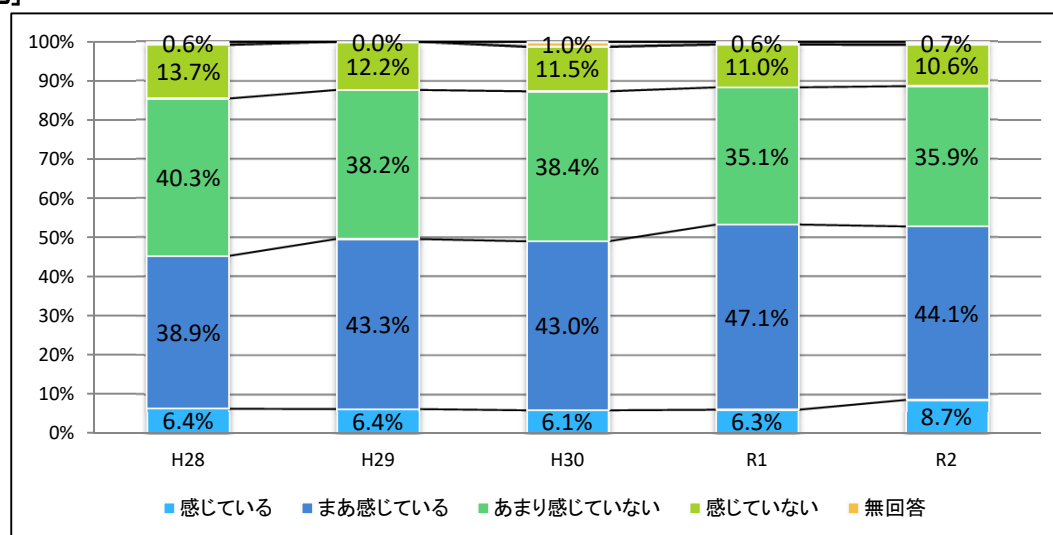


選択肢	令和2年10月	
	選択者(人)	割合(%)
感じている	52	8.7%
まあ感じている	263	44.1%
あまり感じていない	214	35.9%
感じていない	63	10.6%
無回答	4	0.7%
計	596	

### [年代別]



### [経年変化]

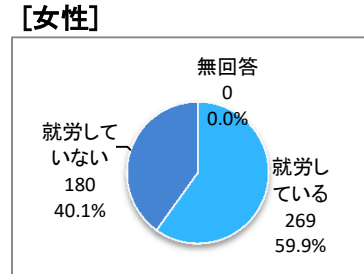
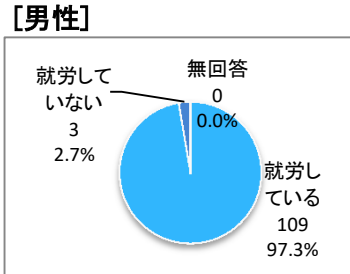
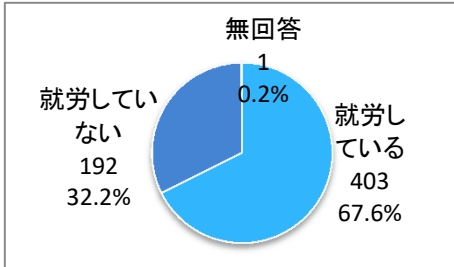


②基本目標 V 職業生活と家庭生活との両立の支援

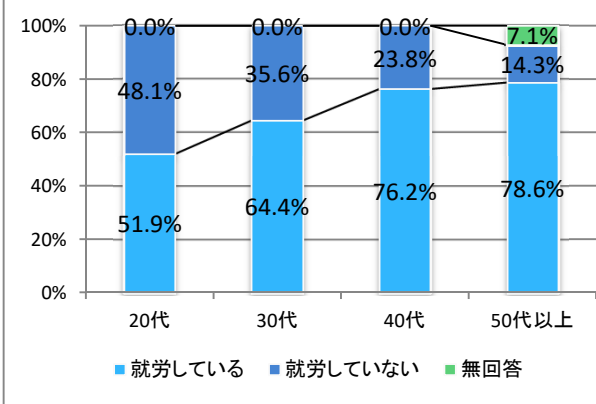
目指す方向性 仕事と生活のバランスが図られていると感じる人を増やします。(V-1)

仕事・育児・プライベートの希望と現実の差をなくします。(V-2)

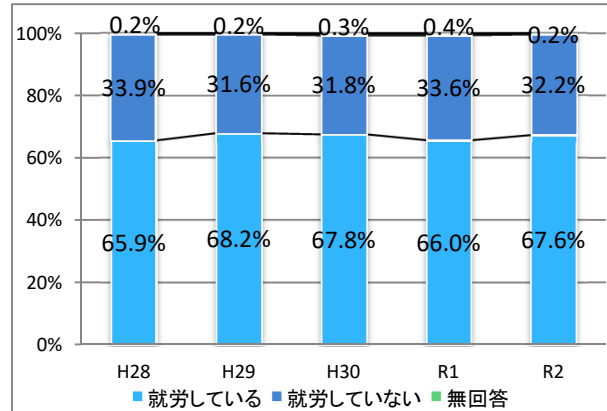
設問 1 2 : あなたの現在の就労状況について、該当する方( a 就労している、b 就労していない)に○をつけてください。



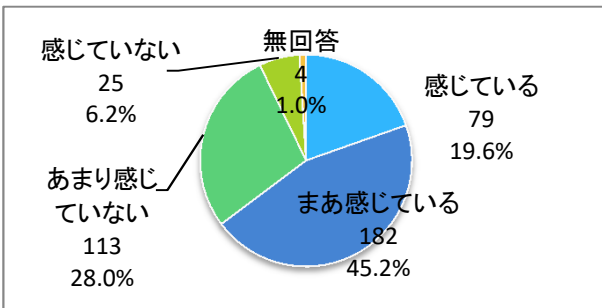
[年代別]



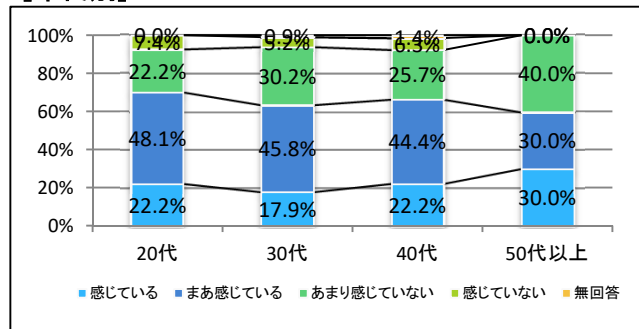
[経年変化]



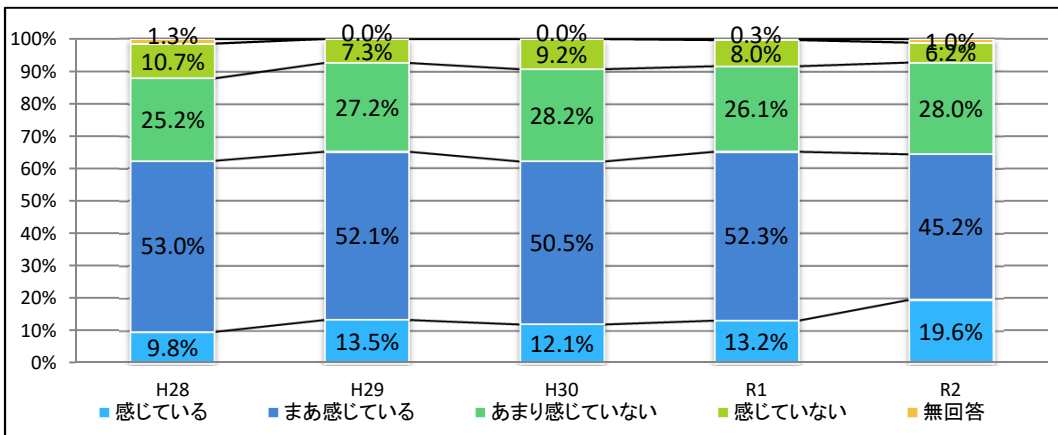
設問 1 2-2 : 「a 就労している」と回答した方にお伺いします。あなたは、仕事と生活(家事、育児、プライベートの時間等)の両立が図られていると感じますか。



[年代別]



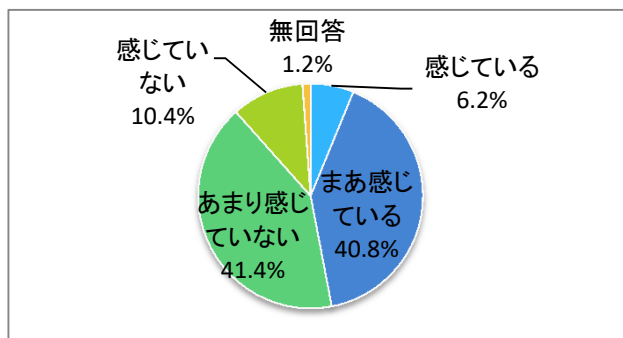
[経年変化]



## ②基本目標 VI 子どもの安全の確保

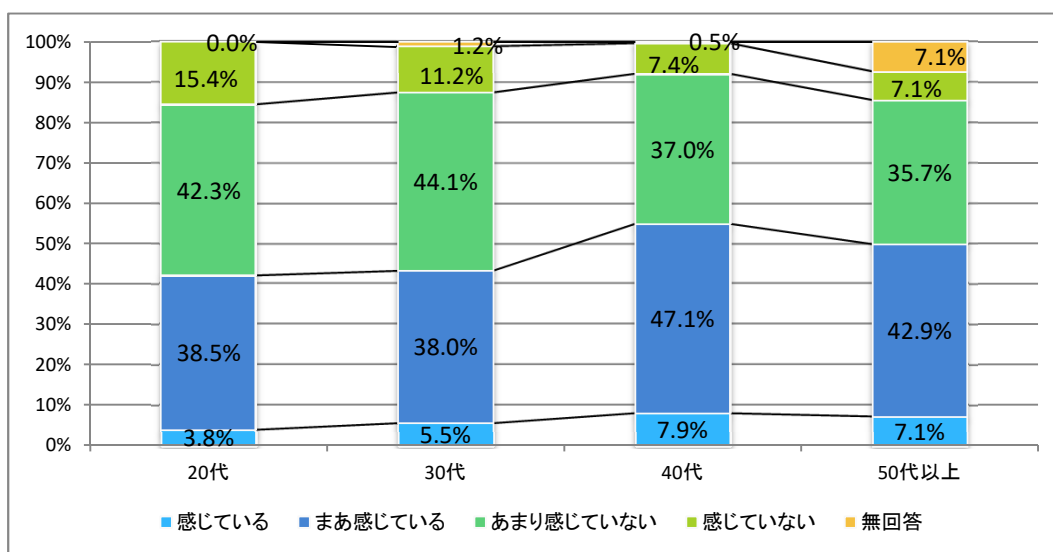
目指す方向性 地域における防犯活動が活発であると感じる人を増やします。(VI-1)

設問 1 3 : あなたは、地域における防犯活動が活発であると感じていますか。

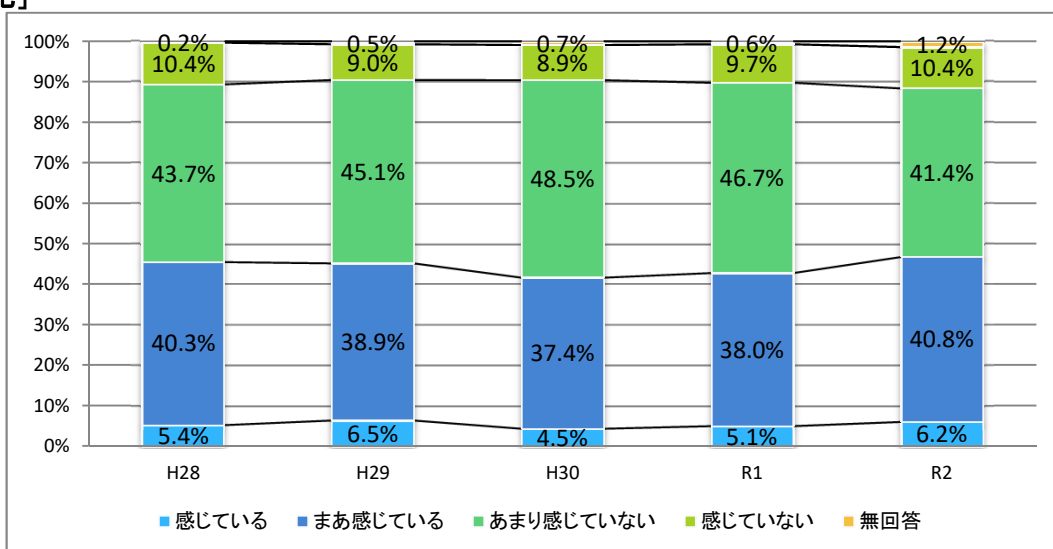


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	37	6.2%
まあ感じている	243	40.8%
あまり感じていない	247	41.4%
感じていない	62	10.4%
無回答	7	1.2%
計	596	

### [年代別]



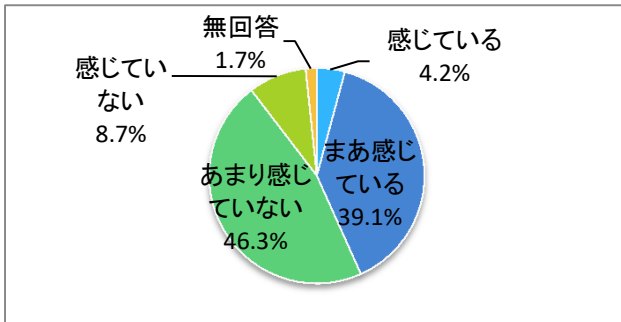
### [経年変化]



②基本目標 VI 子どもの安全の確保

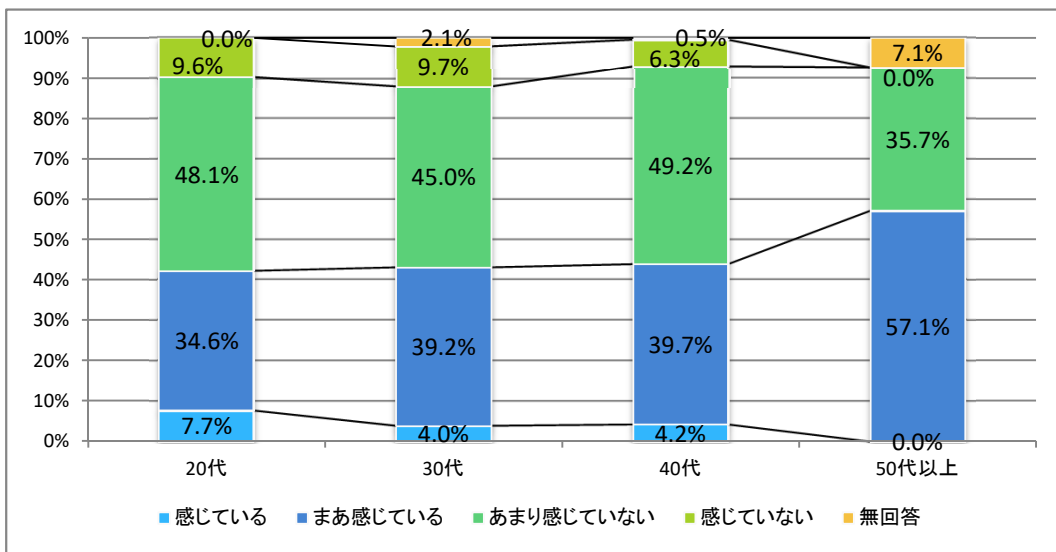
目指す方向性 子どもに係る事故や犯罪が少なくなったと感じる人を増やします。(VI-2)

設問14：あなたは、地域において子どもに係る事故や犯罪が少なくなっていると感じていますか。

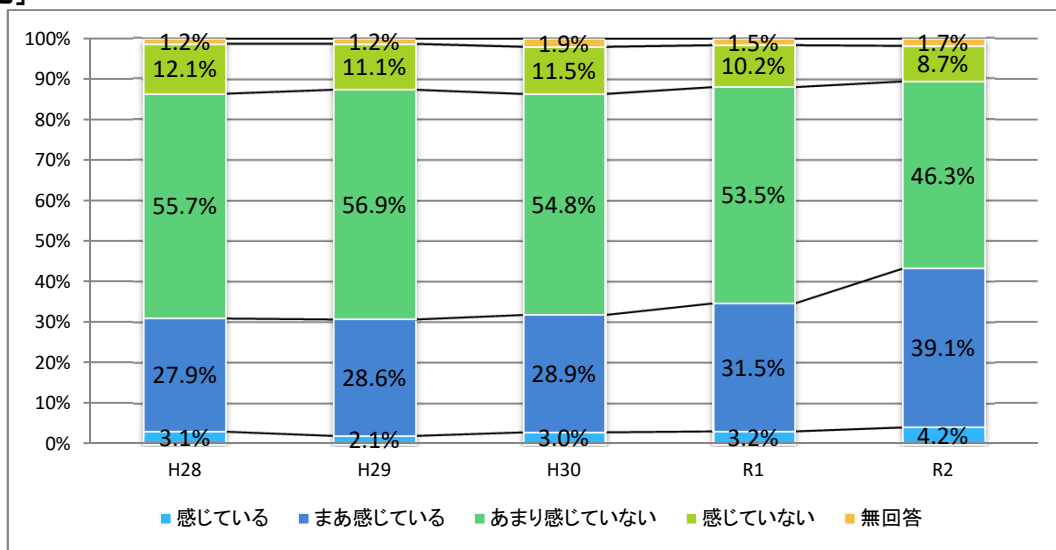


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	25	4.2%
まあ感じている	233	39.1%
あまり感じていない	276	46.3%
感じていない	52	8.7%
無回答	10	1.7%
計	596	

[年代別]



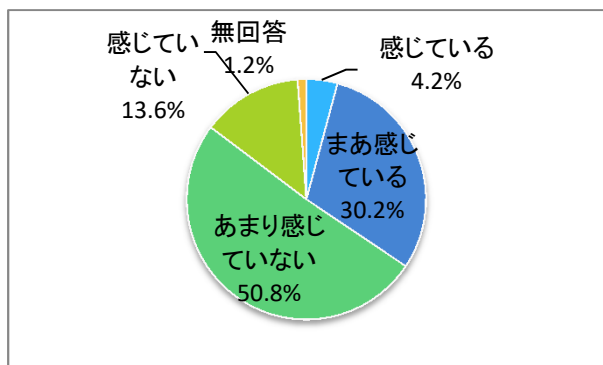
[経年変化]



②基本目標 VII 要支援児童への対応などきめ細かな取組みの推進

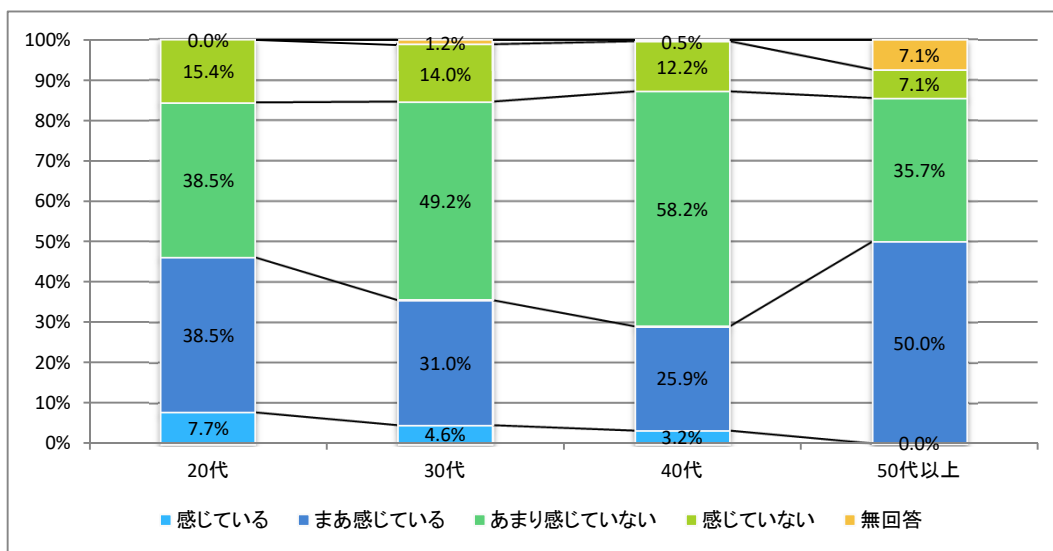
目指す方向性 子どもを地域全体で見守っていると感じる人を増やします。(VII-1)

設問15：あなたは、児童の虐待の防止など、子どもを地域全体で見守る取組みが進んでいると感じていますか。

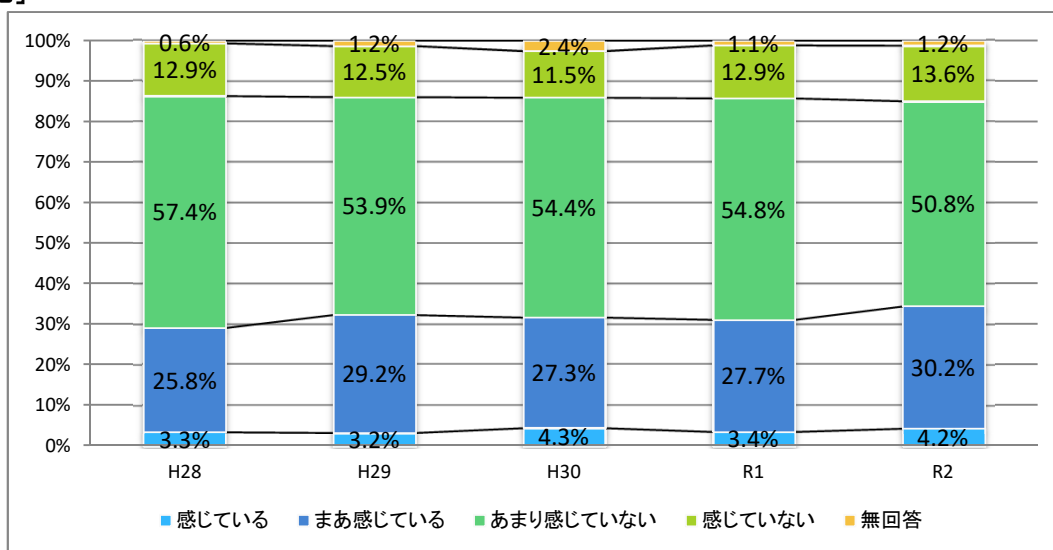


選択肢	令和2年10月	
	選択者 (人)	割合 (%)
感じている	25	4.2%
まあ感じている	180	30.2%
あまり感じていない	303	50.8%
感じていない	81	13.6%
無回答	7	1.2%
計	596	

[年代別]

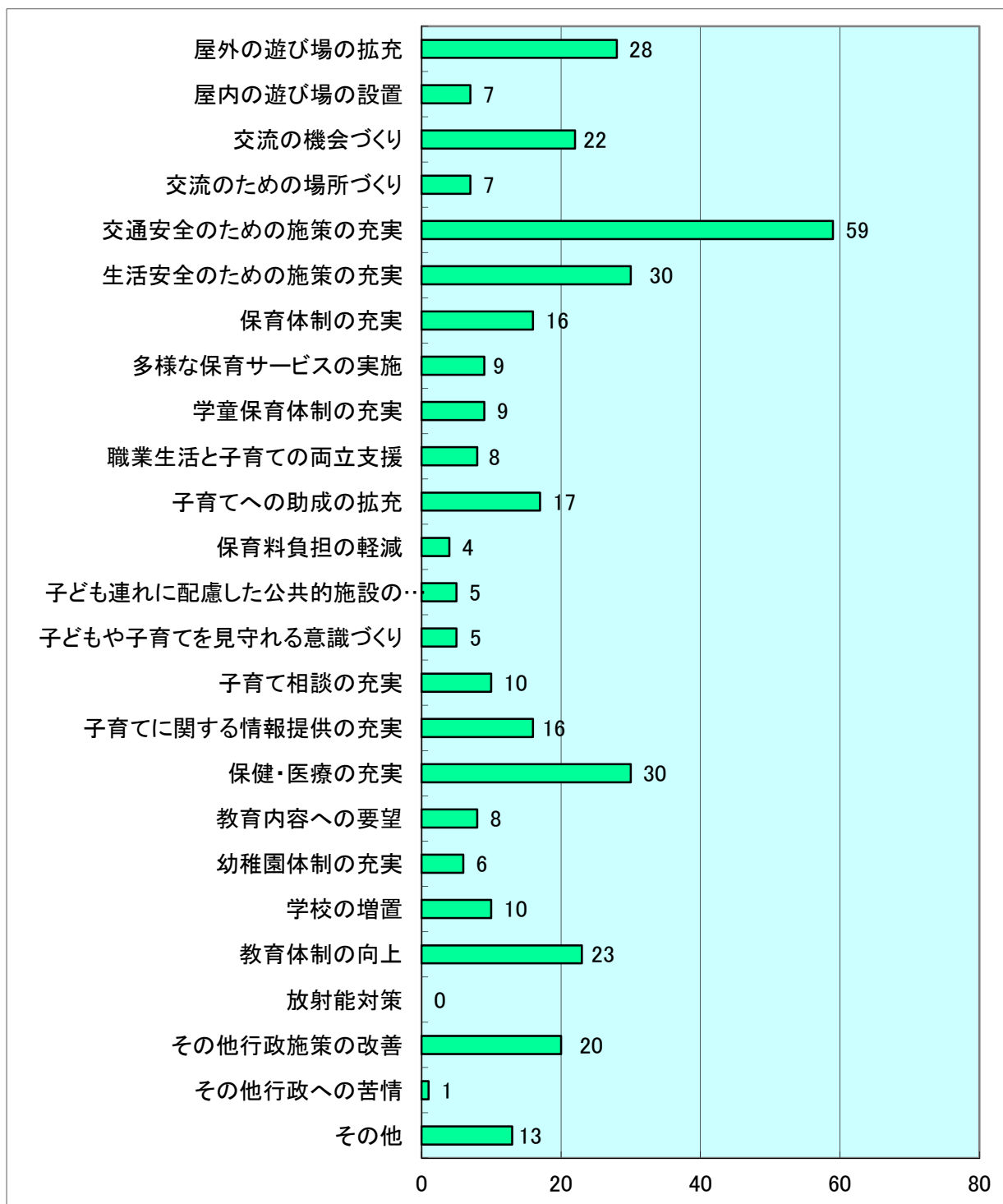


[経年変化]



### (3) 自由意見

設問：安心して子育てができる社会の実現に向けて、ご意見やご要望などを自由にお書きください。（項目で分類：複数回答）



回収数	596人	
記入数	219人	36.7%
無記入	377人	63.3%



## 袖ヶ浦市子育てアンケート 目標別成果指標の推移

袖ヶ浦市では、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な子育て支援施策の取り組みを検討していくため、個別事業レベルの進捗状況（アウトプット）に加え、平成24年度から年1回のペースで「子育てアンケート」を実施し、個別事業を束ねた施策レベル、計画レベルの成果指標（アウトカム）を経年的に測定しています。

平成28年度から令和2年度における調査は、小学校在学生までの保護者1,100人を対象に、郵送配布・郵送回収にて実施しており、以下にその主な結果についてまとめます。

### 子育てアンケート調査の調査票回収結果

実施年度※	調査時期	回収数
平成 28 年度	平成 28 年7月1日～22 日	481 人(回収率:43.7%)
平成 29 年度	平成 29 年6月1日～23 日	566 人(回収率:51.5%)
平成 30 年度	平成 30 年6月1日～22 日	575 人(回収率:52.3%)
令和元年度	令和元年5月 20 日～6月7日	527 人(回収率:47.9%)
令和2年度	令和2年 10 月1日～10 月 20 日	596 人(回収率:54.2%)

※アンケートの結果は前年度の成果指標となる(例:平成28年度に実施したアンケートの結果=平成27年度の成果指標)

### ■基本目標Ⅰ「地域における子育ての支援」(35事業)

成果指標	H28	H29	H30	R 元	R2
子育てに関して楽しいと感じる割合	62.2%	65.2%	63.8%	66.0%	62.6%
子育てに関して身近で気軽に相談できる人がいる割合	94.0%	94.3%	93.4%	90.7%	94.8%
学校等以外で子どもが交流できる場を持っていると感じる割合	57.2%	55.0%	54.4%	52.6%	50.2%

#### 次期計画での目指す姿

- ・すべての子育て家庭が必要とするサービスを受けることができます。
- ・保護者の育児の不安や負担が軽減され、肯定感を持って子育てをしています。
- ・子育てが地域の人に支えられ、孤立感や子育てに対する不安が解消しています。

#### 次期計画における目標値(令和6年度)

- ・子育てに関して楽しいと感じる割合:68%以上
- ・子育てに関して身近で気軽に相談できる人がいる割合:令和元年度実績(90.7%)以上
- ・学校等以外で、子ども同士や他の世代との交流ができる場を持っていると感じる割合:57%以上

## ■基本目標Ⅱ「母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進」（15事業）

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
子どもを産み育てやすいと感じる割合	72.0%	67.5%	71.7%	68.3%	70.5%
子どもが健康的な食生活を身に付けていると感じる割合	74.9%	76.3%	78.4%	75.5%	73.4%

### 次期計画での目指す姿

- ・妊娠期からの切れ目ない支援により、妊娠期間を健やかに過ごすとともに、安心して出産に臨み、子育てすることができています。
- ・子どもたちが健康に対する理解や健康づくりの大切さを認識するとともに、自主的に健康管理を行いながら、健康で安全な生活を送っています。
- ・幼児期からの食育に対する意識づけと主体的な取組みの実践により、食を通じて健全な体と豊かな心を育てています。

### 次期計画における目標値（令和6年度）

- ・子どもを産み育てやすいと感じる割合：70%以上
- ・子どもが健康的な食生活を身に付けていると感じる割合：79%以上

## ■基本目標Ⅲ「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」（14事業）

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
子どもが主体的に生きていくための力を育む教育環境があると感じる割合	68.8%	68.5%	67.7%	69.0%	70.1%
子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境だと感じる割合	61.9%	67.1%	66.3%	66.5%	60.5%

### 次期計画での目指す姿

- ・子どもの生きる力の育成に向けた地域の教育環境が整備され、子ども一人ひとりが集団生活を通して、丈夫な体と豊かな心を育てています。
- ・地域の協力を得ながら、様々な体験・活動や学習の機会が提供され、子どもたちが、子育ての意義や家庭の大切さに対する理解を進めています。

### 次期計画における目標値（令和6年度）

- ・子どもが主体的に生きていくための力を育む教育環境があると感じる割合：72%以上
- ・子どもが自然・社会・文化などの体験をしやすい環境だと感じる割合：69%以上

#### ■基本目標Ⅳ「子育てを支援する生活環境の整備」（４事業）

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
道路・公園・交通機関等が安全で使いやすいと感じる割合	45.3%	49.7%	49.1%	53.4%	52.8%

##### 次期計画での目指す姿

- ・子どもと保護者が安心して外出し、遊ぶことができる生活環境が整備されています。

##### 次期計画における目標値（令和6年度）

- ・道路・公園・交通機関等が安全で使いやすいと感じる割合：57%以上

#### ■基本目標Ⅴ「職業生活と家庭生活との両立の支援」（３事業）

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
仕事と生活の両立が図られていると感じる割合	62.8%	65.6%	62.6%	65.5%	64.8%

##### 次期計画での目指す姿

- ・子育て家庭がライフスタイルにあった保育サービスを選択し、利用でき、一人ひとりが望むワーク・ライフ・バランスが保たれています。

##### 次期計画における目標値（令和6年度）

- ・仕事と家庭での生活の両立が図られていると感じる割合：68%以上



## ■基本目標Ⅵ「子どもの安全の確保」(11事業)

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
子どもに係る事故や犯罪が少なくなったと感じる割合	31.0%	30.7%	31.9%	34.7%	43.3%
地域における防犯活動が活発であると感じる割合	45.7%	45.4%	41.9%	43.1%	47.0%

### 次期計画での目指す姿

- ・子どもたちは、日常生活の中で、交通安全のルールや防犯意識を身に付け、犯罪などに巻き込まれない力が培われています。
- ・地域の連携により、事故や犯罪から子どもたちが守られています。

### 次期計画における目標値(令和6年度)

- ・子どもに係る事故や犯罪が少なくなったと感じる割合:38%以上
- ・地域における防犯活動が活発であると感じる割合:47%以上

## ■基本目標Ⅶ「要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進」(19事業)

成果指標	H28	H29	H30	R元	R2
児童の虐待の防止など子どもを地域全体で見守る取り組みが進んでいると感じる割合	29.1%	32.4%	31.6%	31.1%	34.4%

### 次期計画での目指す姿

- ・あらゆる機会において虐待が早期に発見され、適切・迅速な対応により子どもが守られています。
- ・障がいのある子どもたちが、障がいの特性に応じた支援とともに、成長過程に沿った継続的な支援や整備された環境のもとで、一貫した療育支援を受けています。
- ・子育て家庭が相談しやすい環境や各種情報・支援が提供され、家庭環境にかかわらず、すべての子どもが心身共に健やかに成長しています。

### 次期計画における目標値(令和6年度)

- ・児童の虐待の防止など子どもを地域全体で見守る取り組みが進んでいると感じる割合:34%以上

## 「すくすく子育て！ぶっく」に関するアンケート調査結果

### 1. 調査目的

子育てに役立つ情報を持ち運びしやすいサイズにまとめたガイドブックである「すくすく子育て！ぶっく」について、子育て中の保護者の意見を聴取し、来年度に改訂を検討する際の参考とする。

### 2. 調査概要

- (1) 調査対象 小学校在学学生までの保護者1, 100人
  - (2) 調査方法 郵送配布・回収
  - (3) 調査時期 令和2年10月1日(木)～10月20日(火)
- ※「令和2年度袖ヶ浦市子育てアンケート」に同封して送付

### 3. 回収状況

回収数 577人(回収率52.5%)



## 4. 調査結果

○問1 「すくすく子育て!ぶっく」を利用されていますか。

利用している	155人	26.9%
利用したことがない、持っていない	417人	72.3%
無回答	5人	0.9%
合計	577人	100%

○問2 ガイドブックに掲載する情報のうち、重要だと思うものはどれですか。

(複数選択可)

妊娠・出産	128人	7.0%
健診・予防接種	289人	15.8%
子育て支援施設・サークル	142人	7.8%
子育てに関する手当や助成制度	289人	15.8%
保育所・幼稚園・一時預かり	214人	11.7%
小学校・放課後児童クラブ	93人	5.1%
障がい福祉サービス	37人	2.0%
公園・公共施設・観光案内	138人	7.6%
災害・避難場所・交通安全	152人	8.3%
子育てに関する相談窓口	85人	4.7%
市内の医療機関	181人	9.9%
子育て関連地図	54人	3.0%
無回答	25人	1.4%
合計(延べ人数)	1,827人	100%

○問3 どのような形式のガイドブックが利用しやすいと思いますか。

(複数選択可)

パソコンやスマホから閲覧可能な電子書籍 又はアプリ	265人	40.9%
現行のガイドブックと同様な紙の冊子	111人	17.1%
紙の概要版+①の電子書籍又はアプリ	250人	38.6%
その他	7人	1.1%
無回答	15人	2.3%
合計(延べ人数)	648人	100%

# 市立幼児教育・保育施設の今後のあり方 検討に係る現状と課題について

---

令和2年12月21日 第3回子ども・子育て支援会議資料

# 目次

1. 市立幼児教育・保育施設のあり方検討の背景
  2. 幼児教育・保育の現状
  3. 袖ヶ浦市の人口及び財政状況
  4. 保育施設の整備計画及び費用負担
  5. 幼児教育・保育施設に関する課題
  6. 幼児教育・保育に関する基本的な考え方 ※検討中
  7. 市立幼児教育・保育施設のあり方に関する方針 ※検討中
- (参考) 今後の取組の進め方



# 1. 市立幼児教育・保育施設のあり方検討 の背景

---

## (1)はじめに

本市では、保育所入所待ち児童の増加や市立幼稚園児童の減少、多様な保育ニーズへの対応などの課題に取り組むため、平成28年3月に「袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組みについて」を策定し、市立幼稚園の1園化や、幼保連携型認定こども園の誘致などの施策を進めてきた。

その後も袖ヶ浦駅海側地区への子育て世代の転入や、幼児教育・保育の無償化などにより、保育ニーズが増加・多様化している一方で、主として昭和50年代に建設された市立幼保施設の多くは老朽化が進み、計画的な大規模改修や更新が必要となっている。

更に、本市の財政状況は近年厳しさを増していることから、今後も幼児教育及び保育サービスの水準を維持していくためには、市立幼保施設のあり方について見直すことが不可欠である。

このような状況を踏まえ、将来にわたって質の高い幼児教育及び保育サービスの提供を維持するため、既存施設の管理運用体制について見直しを行い、今後のあり方に関する基本方針を定めるものである。

## (2) 袖ヶ浦市総合計画〔前期基本計画〕（令和2年6月策定）

### 「子育て支援」の分野における目指すまちの姿

- 次代を担う子どもたちが、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うため、等しく幼児期の教育・保育を受けることができる環境が整えられています。

### 「子育て支援」の分野における施策の方向性（抜粋）

- 幼稚園、保育所、認定こども園における共通の教育指針として定めた「幼児教育カリキュラム」を積極的に活用することにより、さらに質の高い幼児教育・保育を提供するとともに、小学校への滑らかな接続を推進していきます。
- 質と量の両面で十分な保育サービスの提供を推進します。

### (3) 袖ヶ浦市第7次行政改革大綱（令和2年3月策定）

#### 市立保育所・幼稚園のあり方の検討

- 現状の人口分布や将来推計、また施設の管理運営状況等をも考慮した将来的展望を検討し、計画的な対応を実施していくことで、多様なニーズに応える保育サービスを継続的に提供することが可能となり、未来を見据えた子育て環境の構築が実現できる。

#### 市立保育所・幼稚園の運用体制の検討

- 今後の適切な幼児教育・保育サービスの提供と供給体制の確保のため、公立の幼児教育及び保育施設のあり方について、庁内、保護者、市民及び関係機関から意見を聴取しながら検討を進める。

## 2. 幼児教育・保育の現状

---

# (1) 市内の幼児教育・保育施設

	昭和	長浦	根形	平川
市立幼稚園				1
私立幼稚園		2		
市立保育所	1	1	1	2
私立保育所	3	3		
私立小規模	2	1		
私立こども園	1			
家庭的保育	1			
事業所内保育		1		



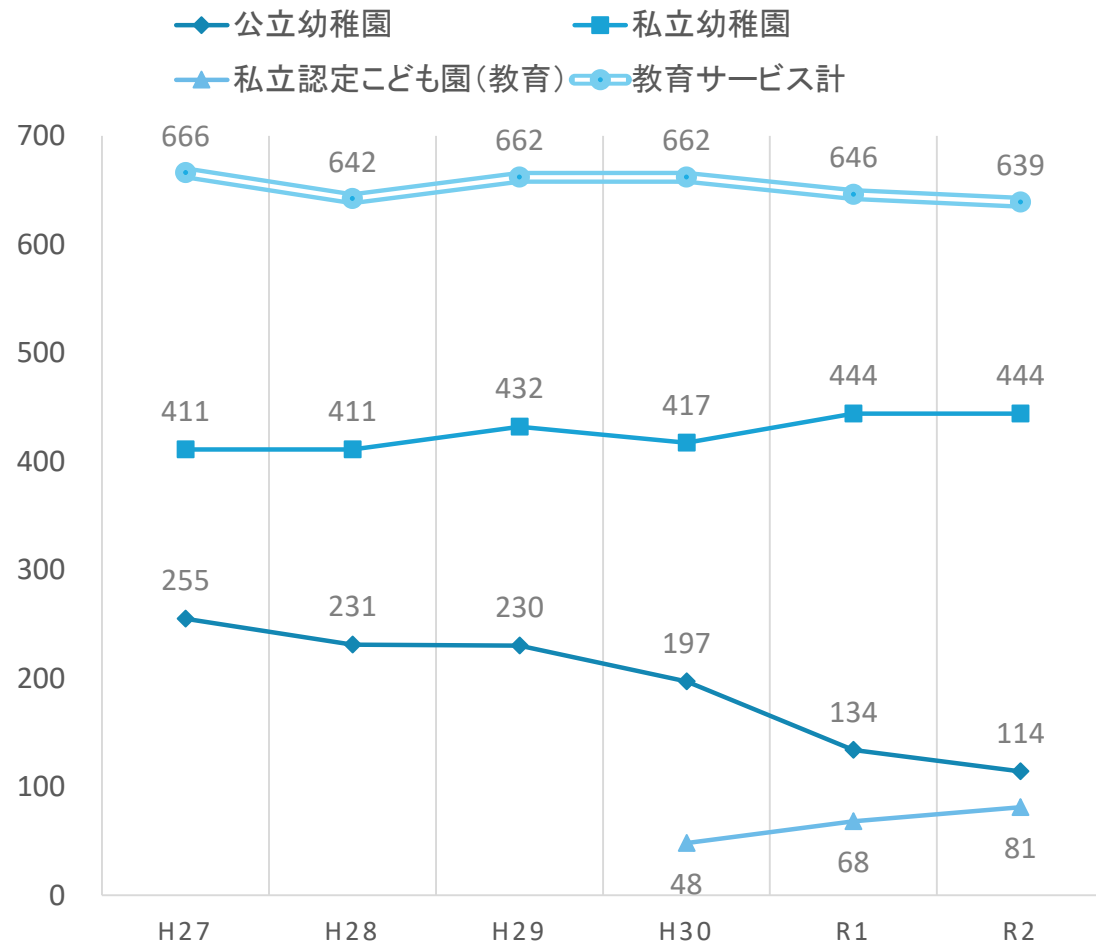
## (2)-①未就学児童数及び市内教育・保育施設入所児童数の推移

- 未就学児(0～5歳児)の数は、袖ヶ浦駅海側地区における子育て世代の転入などにより増加し続けている。
- 平成27年度から令和2年の6年間で、教育施設の入所児童数はほぼ横ばいである一方、保育施設の入所児童数は約1.4倍の増となっている。

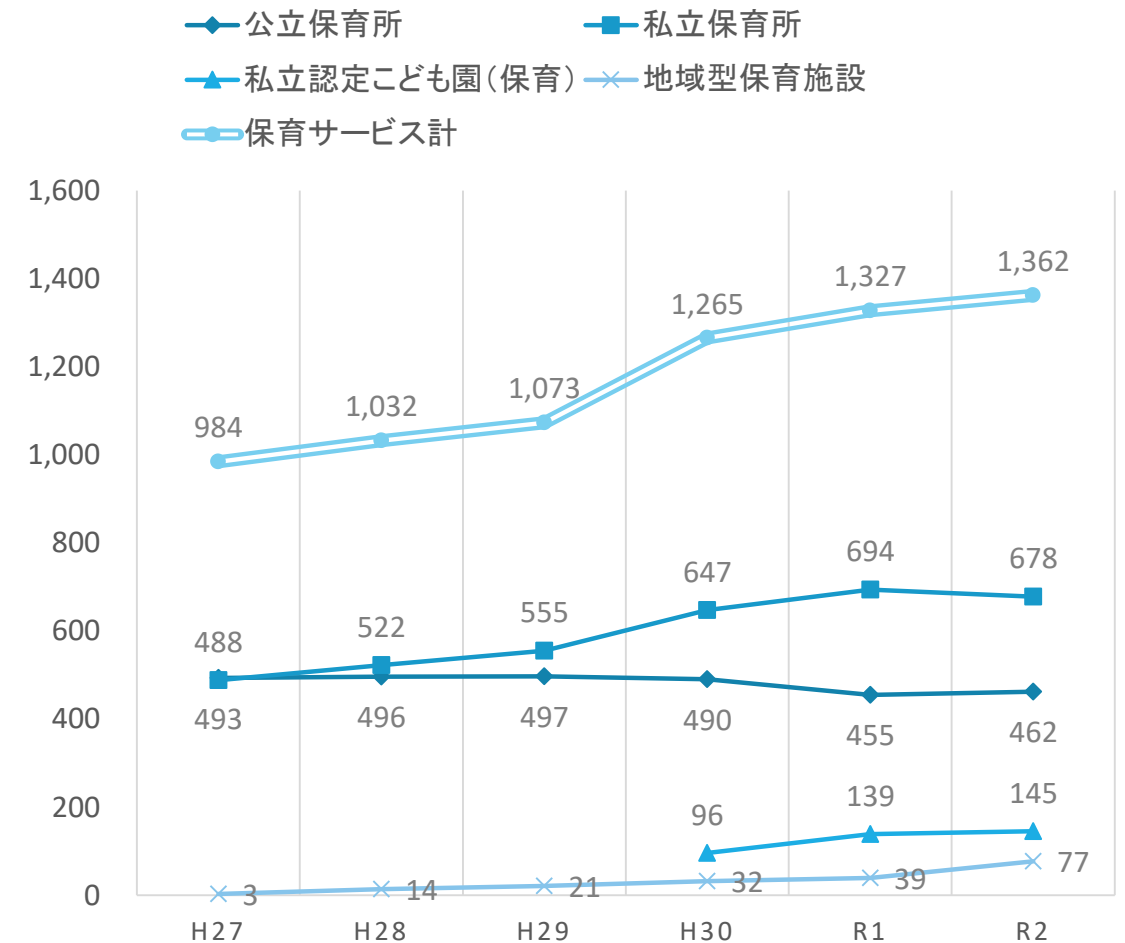
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
未就学児童数	3,158	3,220	3,227	3,407	3,477	3,540
市内教育施設 入所児童数	666	642	662	660	646	639
市内保育施設 入所児童数	984	1,032	1,073	1,265	1,327	1,362

## (2)-②未就学児童数及び市内教育・保育施設入所児童数の推移

### 市内教育施設入所児童数(5/1)



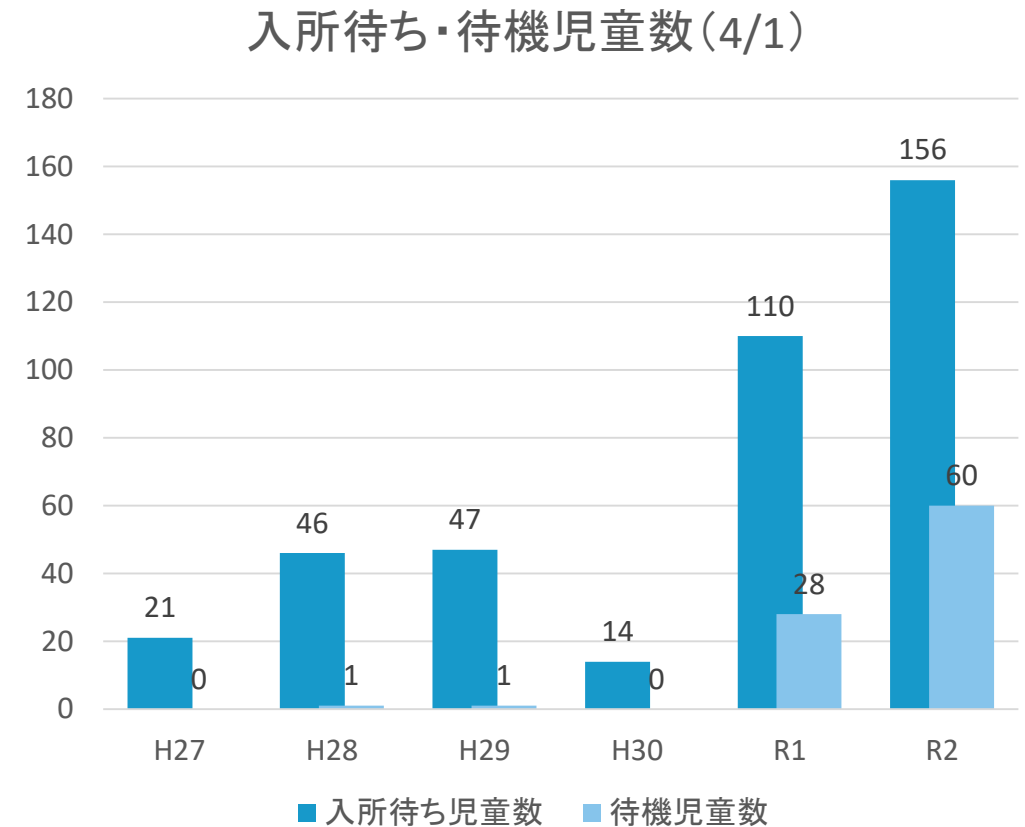
### 市内保育施設入所児童数(4/1)





### (3) 保育所入所待ち児童数及び待機児童数の推移

- 保育所入所待ち児童数は平成30年度後半より急増し、令和2年4月には156人となっている。
- 国基準の待機児童数についても、平成30年度までは0～1人で推移していたが、令和元年度には28人、令和2年度には60人まで増加している。



## (4) 市立保育所及び幼稚園の入所状況

※上段は入所者数、下段は入所率

保育所4/1・幼稚園5/1		定員	H27	H28	H29	H30	R1	R2
保 育 所	福王台保育所	120	123	126	121	120	114	120
			102.5%	105.0%	100.8%	100.0%	95.0%	100.0%
	久保田保育所	120	114	126	128	119	106	114
			95.0%	105.0%	106.7%	99.2%	88.3%	95.0%
	根形保育所	120	109	101	106	107	93	88
			90.8%	84.2%	88.3%	89.2%	77.5%	73.3%
平川保育所	90	73	70	67	66	70	69	
		81.1%	77.8%	74.4%	73.3%	77.8%	76.7%	
吉野田保育所	90	74	73	75	78	72	71	
		82.2%	81.1%	83.3%	86.7%	80.0%	78.9%	
幼 稚 園	今井幼稚園	210	175	157	153	126		
			83.3%	74.8%	72.9%	60.0%		
	中川幼稚園	210	80	74	77	71	134	114
			38.1%	35.2%	36.7%	33.8%	63.8%	54.3%

## (5) 保育所等施設長寿命化計画(令和2年3月策定)等に基づく施設の現況

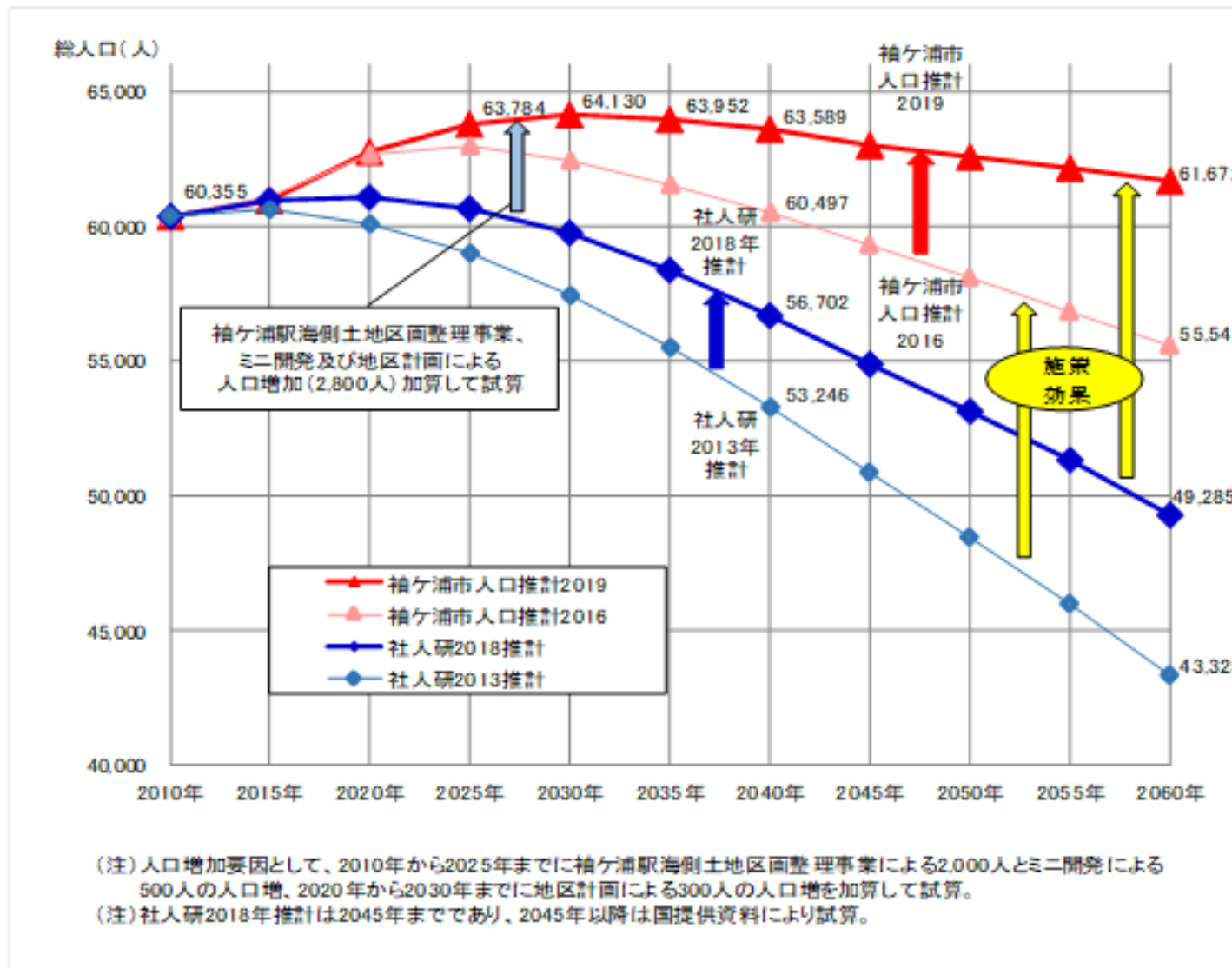
施設名		構造	建築年	延床面積 (㎡)	児童数(R2)		耐震 基準	耐震 補強	更新等の 目安
					定員	4/1在籍			
保 育 所	福王台保育所	木造	S51	988	120	120	旧	済	20年後
	久保田保育所	木造	S52	997	120	114	旧	済	20年後
	根形保育所	S	S58	1,145	120	88	新	—	20年後
	平川保育所	RC	H6	951	90	69	新	—	15年後
	吉野田保育所	木造	S51	943	90	71	旧	未	—
幼 稚 園	中川幼稚園	S	S53	984	210	114	旧	済	—

### 3. 袖ヶ浦市の人口及び財政状況

---

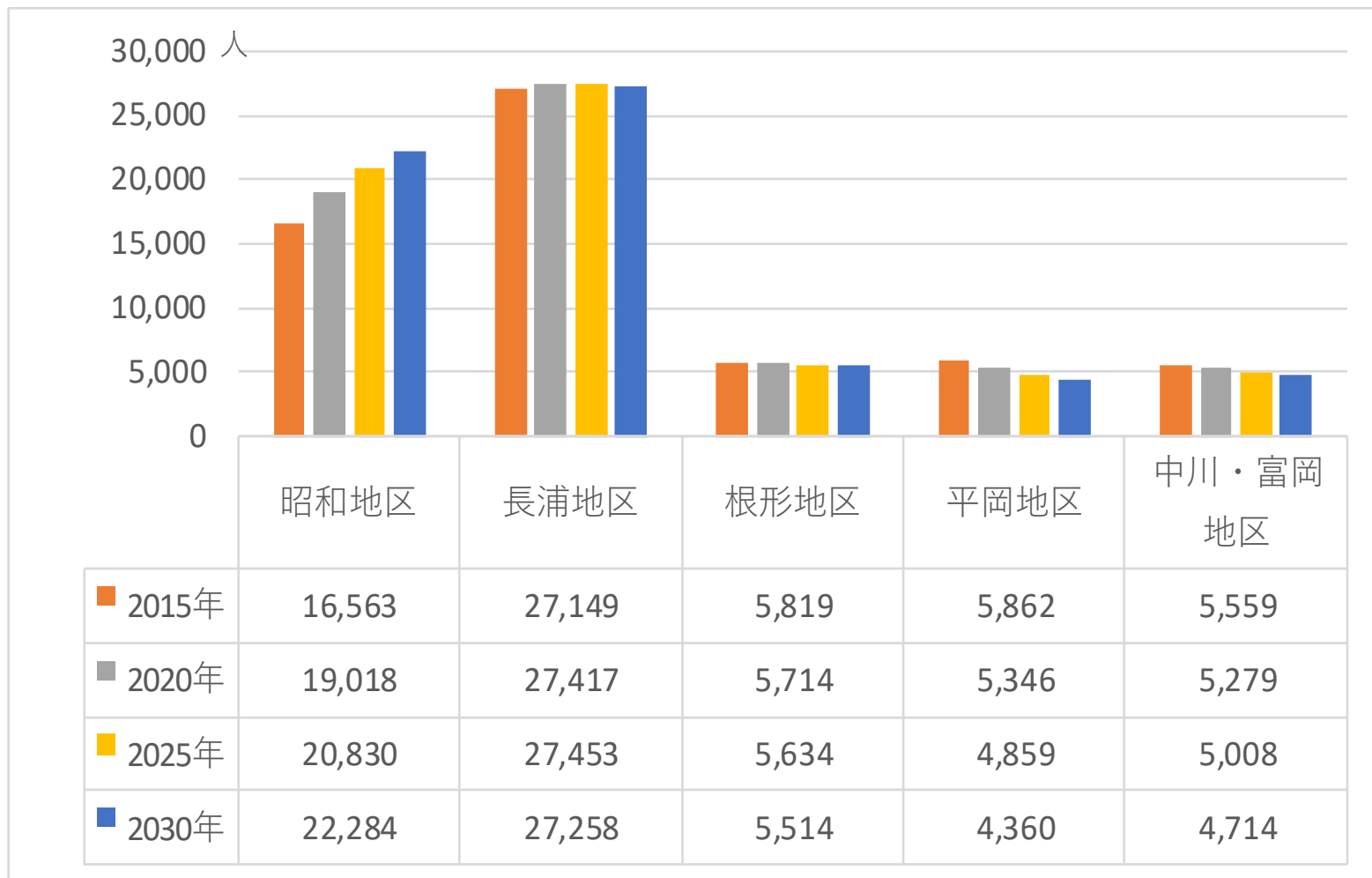
# (1) 総人口の推計(人口ビジョン2019より)

- 袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業の進展などにより、近年当市の人口は増加を続けているもののピークを迎えつつあり、将来的に人口の減少は避けられないと見込まれる。



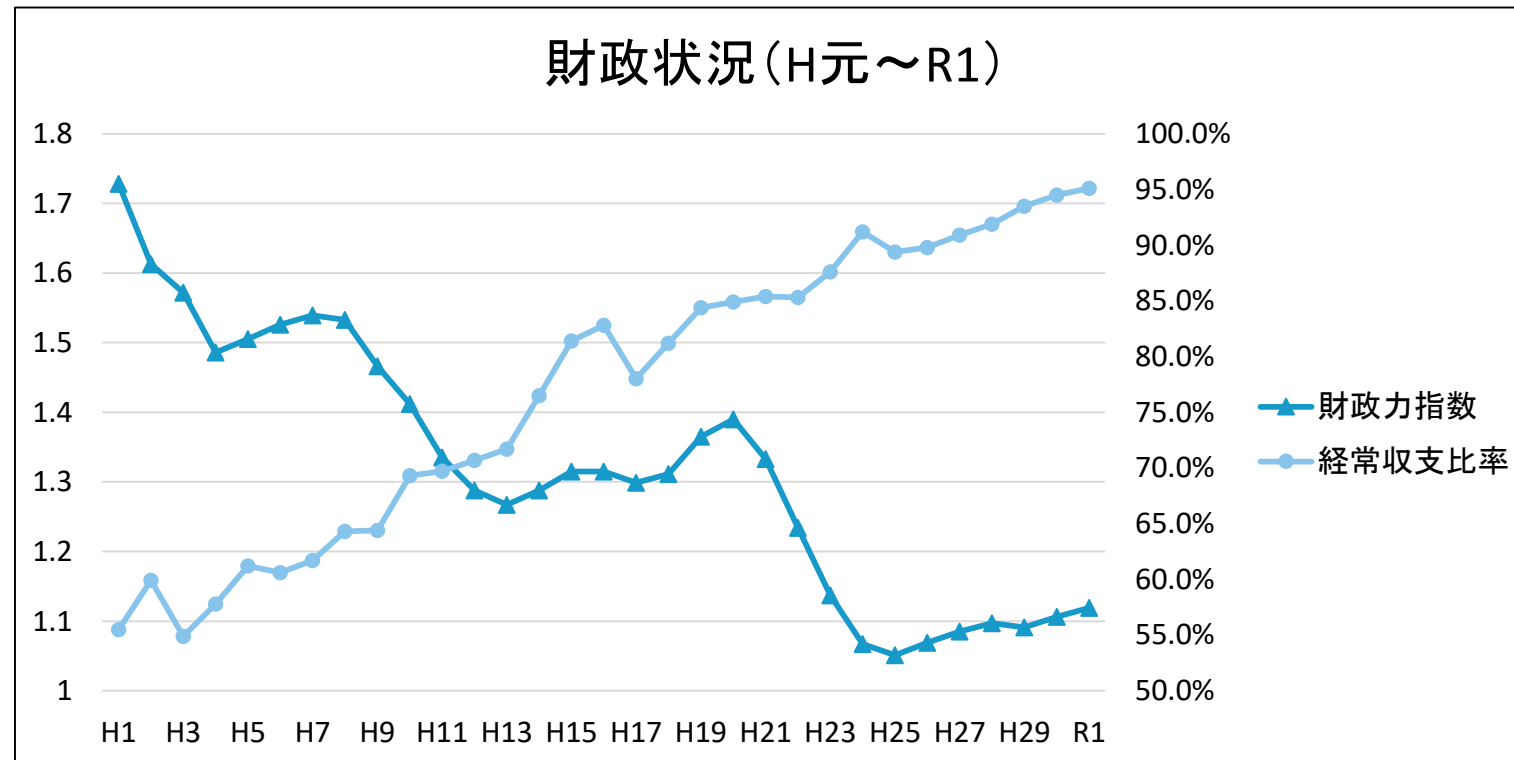
## (2) 地区別人口

- 袖ヶ浦駅海側地区を含む昭和地区では人口増が見込まれる。
- 内陸の平岡地区や中川・富岡地区では人口減少が続くと推計されている。



### (3) 財政状況

- 平成元年度には1.728であった財政力指数は令和元年度には1.119まで下がっている。
- 経常収支比率は平成元年度から令和元年度までの間に55.5%から95.1%まで上昇し、新規事業に投資できる財源が極めて少ない状況となっている。



## 4. 保育施設の整備計画及び費用負担

---



## (1) 子育て応援プラン(第2期)に基づく整備計画

- 令和2年3月に「袖ヶ浦市子育て応援プラン(第2期)」を策定した際、計画期間(令和2年度～令和6年度)に必要な教育及び保育の量の見込みと、それに対応する定員の確保方策を定めている。
- 令和2年度当初時点で1,412人の保育定員を、令和6年度には1,886人まで拡大することとした。

区分	実績(4/1)						計画(4/1)			
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
児童数	3,158	3,220	3,227	3,407	3,477	3,540	3,482	3,432	3,415	3,369
申込者数(保育ニーズ)①	980	1,044	1,130	1,288	1,459	1,563	1,657	1,659	1,675	1,678
市立保育所	540	540	540	540	540	540	540	540	540	540
私立保育園	460	460	490	580	580	640	716	946	946	1,076
認定こども園	0	0	0	150	150	150	150	150	150	150
地域型保育	5	5	24	44	44	82	101	120	120	120
合計②	1,005	1,005	1,054	1,314	1,314	1,412	1,507	1,756	1,756	1,886
②－①	25	-39	-76	26	-145	-151	-150	97	81	208

## (2) 保育施設の整備等に係る国及び市の費用負担

- 民間事業者が保育施設を整備する場合には、国から整備費用の1/2・市から1/4相当額の補助金が交付されるが、市が自ら保育施設を整備する場合は全額市の負担となる。
- 民間事業者が老朽化した保育施設を改修する場合も、同様に国と市から補助金が交付されるが、公立の施設を改修する場合は全額市の負担となる。
- 公設民営(指定管理等)の場合も公設公営の施設と同様の扱いとなる。

### 施設整備（認可保育所等）に係る費用負担

公立	全額市負担		
私立	事業者 1/4	国 1/2 ※	市 1/4

※一定の基準を満たすと国の負担割合が  
かさ上げされ、国2/3・市1/12の負担となる

### (3) 保育所の運営に係る国・県・市の費用負担

- 私立の認可保育所や小規模保育事業の運営費は国が1/2・県が1/4・市が1/4を負担するが、公立保育所の場合は全額市の負担となる。
- 令和元年10月より3歳以上の児童等の保育料が無償化されたが、無償化に係る費用負担についても、私立は国1/2・県1/4・市1/4であるのに対し、公立は全額市の負担となる。

#### 施設型給付（認可保育所等）に係る費用負担

公立	保育料 ※2	全 額 市 負 担 ※1		
----	-----------	--------------	--	--

※1：普通交付税で措置されているが、袖ヶ浦市は不交付団体のため全額市の負担

私立	保育料 ※2	国 1/2	県 1/4	市 1/4
----	-----------	----------	----------	----------

※2：3歳以上又は住民税非課税世帯の0～2歳児の保育料は無償化（公立・私立）

## 5. 幼児教育・保育施設に関する課題

---

## (1) 市全体の課題

- 保育ニーズの急増に伴う待機児童を解消するため、民間事業者による施設整備が進む一方で、現状、公立保育所の中には保育士不足等により定員一杯まで預かることができない施設が存在する。
- 保育サービス受給者の増加により、給付費が増大し続けていることから、限られた財源をより効果的に投入する必要がある。
- 公共施設の多くが今後大規模改修や改築の時期を迎えるが、財政の硬直化が進むなかで、施設の更新に必要な経費が確保できないおそれがある。
- 市立幼稚園の入所児童数が定員を大きく下回っている状況を踏まえ、今後のあり方について検討する必要がある。



## (2) 臨海部(昭和地区・長浦地区)の課題

- 袖ヶ浦駅海側地区等の保育ニーズ急増に伴う待機児童の解消が喫緊の課題である。
- 新たに整備された保育施設が袖ヶ浦駅近辺に集中しているため、今後の人口動向を見据えた適正な施設配置を検討する。

## (3) 内陸部(根形地区・平川地区)の課題

- 耐震性未確認の吉野田保育所の対応が必要である。
- 地域子育て支援拠点の整備や、一時保育・休日保育の提供など、多様な子育てサービスの拡充を検討する。
- 定員一杯の児童を預かり可能とするため、保育士不足を解消する必要がある。
- 耐震化済の中川幼稚園及び平川保育所の有効活用を検討する。
- 将来的な人口動向を見据えた適正な施設規模を検討する。

# (参考) 今後の取組の進め方

---

# (1) 市立幼保施設のあり方に関する方針及び地区別整備計画のイメージ

## 市立幼保施設の今後のあり方に関する方針(案)

幼児教育・保育に関する基本的な考え方

- 質の高い教育・保育を受けることができる環境
- 幼児教育・保育ニーズ量の変化に対応するための選択
- 人員・財源・地域の状況を的確に捉えた配置

例



地区別整備計画の策定

# (2) 幼児教育・保育施設のあり方検討のスケジュール

年度	令和2年度	令和3年度
市立幼保施設の今後のあり方に関する方針	現状及び課題の検討	市立幼保施設の今後のあり方に関する方針策定



# 民間認可保育施設の整備支援等の進捗 状況について

---

令和2年12月21日 第3回子ども・子育て支援会議資料

# 令和2年度～3年度整備保育施設

- ① スクルドエンジェル保育園望海園
- ② アレッタ袖ヶ浦園
- ③ スクルドエンジェル保育園神納園
- ④ (仮称)スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦園Ⅲ
- ⑤ (仮称)クニナ袖ヶ浦保育園



# ① スクルドエンジェル保育園望海園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前2丁目
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 76人
- ・開園予定時期 令和3年4月
- ・従前からの変更点 施設名称を「(仮称)スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦認可園」から現在の名称に変更



# ① スクルドエンジェル保育園望海園

現況写真 (R2.12.13)



完成イメージ



## ② アレッタ袖ヶ浦園

- ・施設種別 小規模保育事業所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前1丁目
- ・整備運営事業者 (株)エテルノ
- ・定員 19人
- ・開園予定時期 令和3年10月
- ・従前からの変更点 開園予定時期を「令和3年4月」から「令和3年10月」に変更



# ③ スクルドエンジェル保育園神納園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市神納
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 70人
- ・開園予定時期 令和3年9月
- ・従前からの変更点 施設名称を「(仮称)スクルドエンジェル保育園神納園」から現在の名称に変更  
開園予定時期を「令和3年8月」から「令和3年9月」に変更



## ④ (仮称)スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦園Ⅲ

- ・施設種別 小規模保育事業所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前1丁目
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 19人
- ・開園予定時期 令和3年12月

※従前からの変更なし



## ⑤ (仮称)クニナ袖ヶ浦保育園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市神納
- ・整備運営事業者 (仮称)社会福祉法人 美咲会
- ・定員 130人
- ・開園予定時期 令和4年4月
- ・備考 7月から10月にかけて整備運営事業者を募集し、当該事業者に決定した。

